
岡 崎 市 市 民 意 識 調 査

報 告 書

平成 20 年 9 月

岡 崎 市

目次

I 調査の概要	- 2 -
II 調査結果	- 4 -
B 岡崎市のまちについて	- 5 -
C 市民参加のまちづくりについて	- 24 -
D 市の取り組みに対する満足度・重要度について	- 34 -
E 自由回答	- 49 -
参考：調査票	- 53 -

I 調査の概要

調査内容

- ・ 調査対象

20 歳以上の岡崎市民 5,000 人
(住民基本台帳から無作為に抽出)

- ・ 調査方法

郵送による配布・回収

- ・ 調査期間

平成 20 年 6 月 5 日から平成 20 年 6 月 22 日

- ・ 回収状況

配布数 5,000 回収票数 2,881 回収率 57.6%

- ・ 調査結果の見かた

- (1) 回答結果について、比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出した。なお、各回答の合計が 100%にならない場合は、無回答（無回答がない場合は「分からない」）の値を調整している。
- (2) 基数となるべき実数は、N として掲載した。すべての比率は、N を 100%として算出している。
- (3) 複数回答が可能な設問では、比率算出の基数は回答者数（票数）とし、その項目を選択した人の回答者数に対する比率を算出している。そのため、各項目の比率を合計すると 100%を超える。
- (4) 各設問に対する結果レポートは、回答者の属性（居住地区、年齢）によるクロス集計結果及び過去の調査結果（平成 18 年、14 年実施）との比較について記載を行っている。

調査項目

A 属性

B 岡崎市のまちについて

- ・岡崎市の住みやすさ（問 7）
- ・住みよいと思う理由（問 7－1）
- ・住みにくいと思う理由（問 7－2）
- ・居住継続意向（問 8）
- ・市政関心度（問 9）
- ・市政に関心がある理由（問 9－1）
- ・市政に関心を持ってもらう施策（問 9－2）

C 市民参加のまちづくりについて

- ・「市民参加によるまちづくりの取り組み」への過去 1 年間での参加（問 10－1）
- ・今後市民活動を活発化させていくために重要な取り組み（問 10－2）
- ・市民活動を活性化させていくため重要な「行政の支援」（問 11）

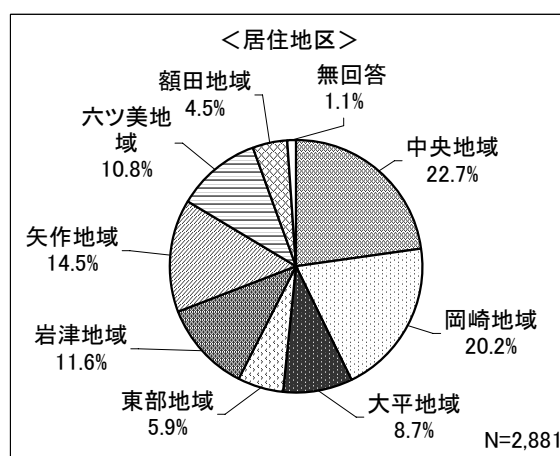
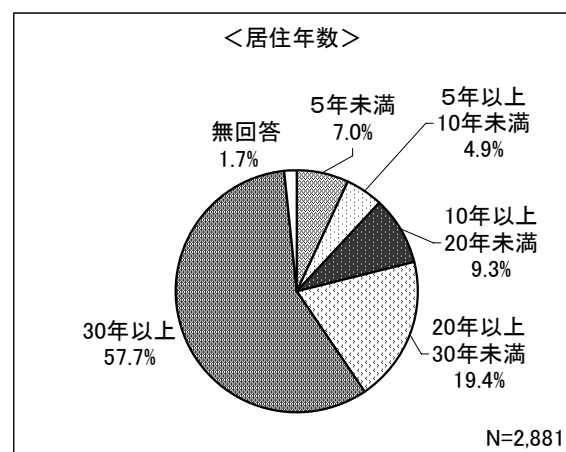
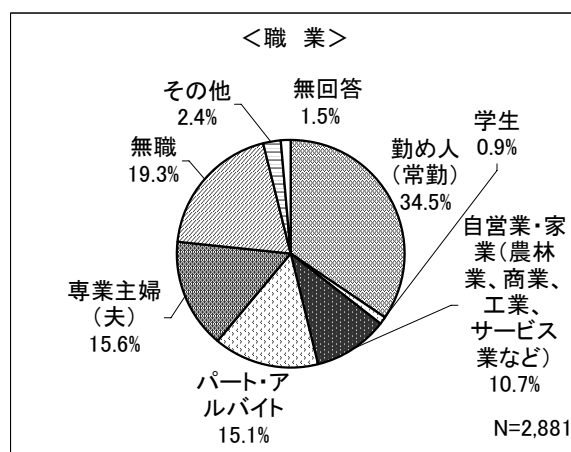
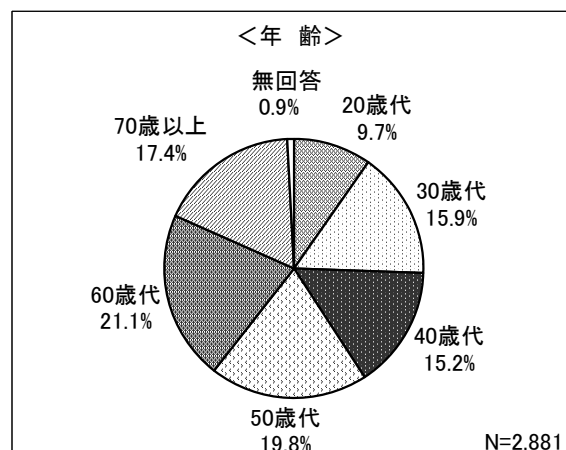
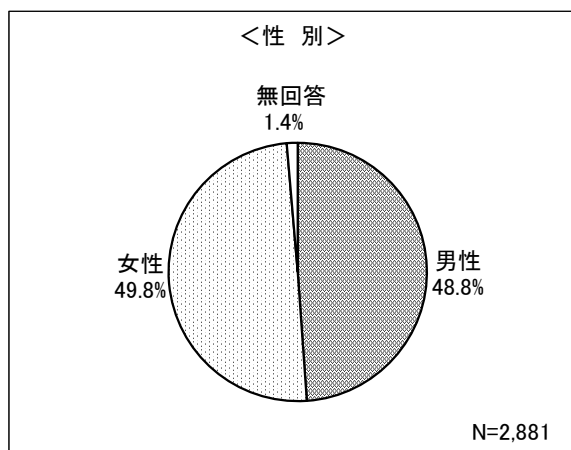
D 市の取り組みに対する満足度・重要度について

- ・市の行政施策に係る「現状の満足度」（問 12（1））
- ・市の行政施策に係る「今後の重要度」（問 12（2））

E 自由回答

Ⅱ 調査結果

A 属性



B 岡崎市のまちについて

問 7 岡崎市の住みやすさ

岡崎市の住みやすさについてうかがったところ、「まあ住みよい」と答えた人が 48.5%と最も多く、「住みよい」と「まあ住みよい」を合わせると 84.0%の市民が岡崎市の生活に満足している。

全体の傾向として生活への満足度水準は高い状態が維持され、住みにくさを感じている市民は少数に抑えられているといえる。

前回（平成 18 年）、前々回（平成 14 年）と合わせた 3 時点の経年変化をみると、「住みよい」と「まあ住みよい」を合わせた肯定的意見は 80%以上を維持している。一方で、「住みにくい」「やや住みにくい」を合わせた否定的意見は、平成 14 年から平成 20 年にかけて減少を続けており、19.4%から 16.6%、さらに 14.1%となっている。

問 7

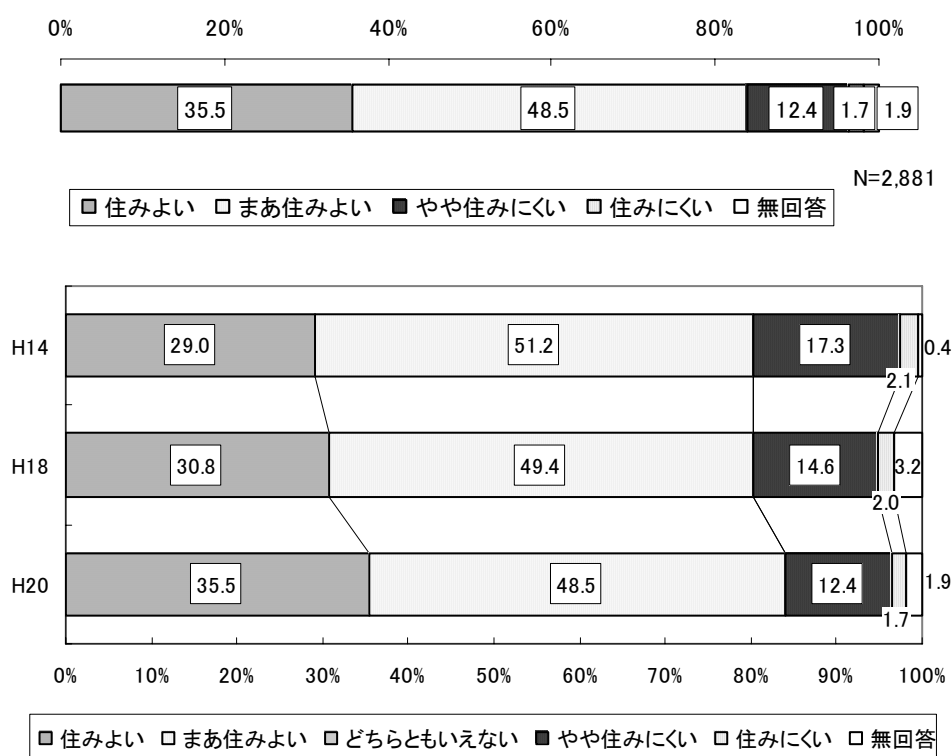
あなたは、岡崎市を住みよいまちだと思いますか。次の中から 1 つ選び、その番号を○で囲んでください。

表 1 岡崎市の住みやすさ

(単位：人、%)

	全体	住みよい	まあ住みよい	やや住みにくい	住みにくい	無回答
回答者数	2,881	1,022	1,398	357	49	55
割合	100.0	35.5	48.5	12.4	1.7	1.9

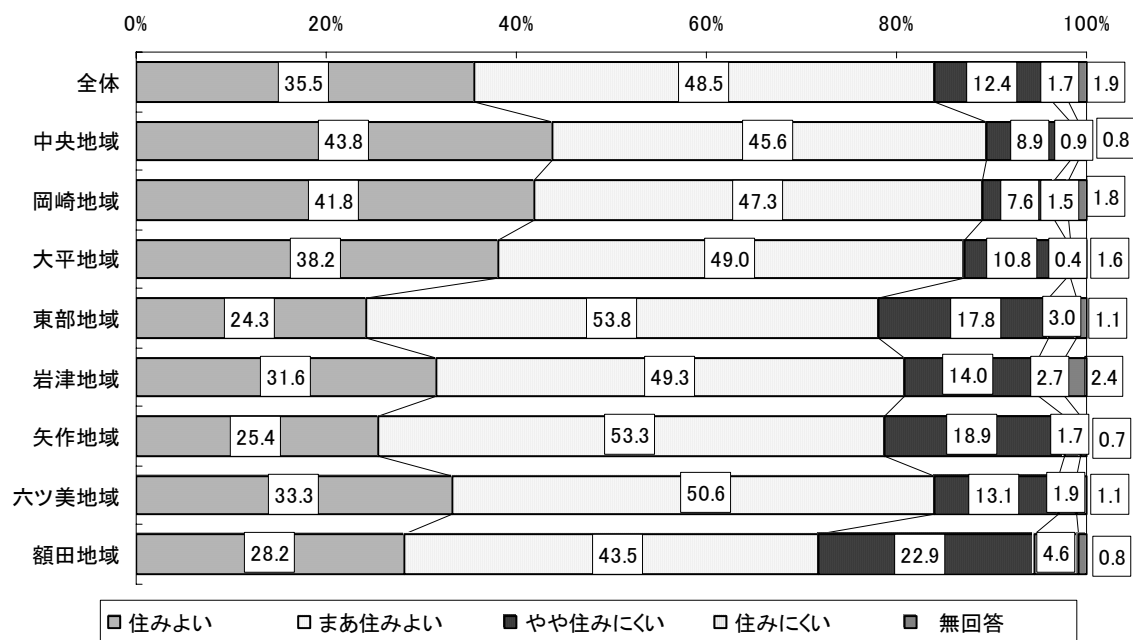
図 1 岡崎市の住みやすさ（上段：単純、下段：経年変化）



<地域別>

地域別にみると、「住みよい」と答えた人の割合が高いのは中央地域（43.8%）、岡崎地域（41.8%）で、「住みにくい」と答えた人の割合が他地域と比して高いのは額田地域（4.6%）となっている。

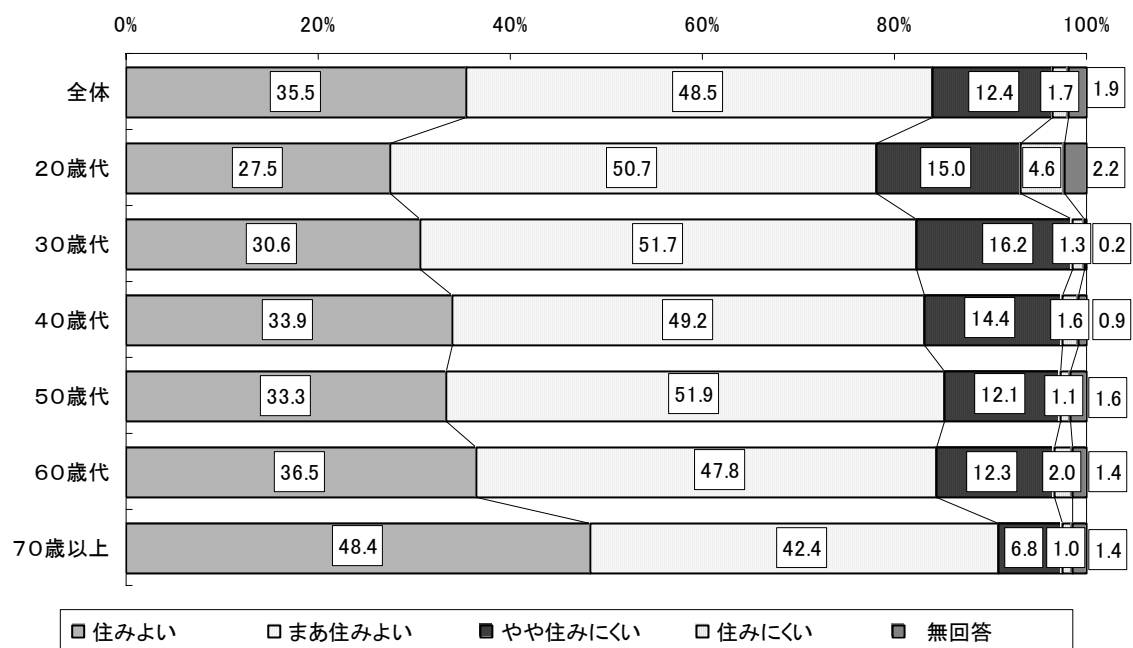
図 1 a 岡崎市の住みやすさ（地域別）



<年齢別>

年齢別にみると、「住みよい」と答えた人の割合は、年齢が高いほど高い傾向が現れており、20 歳代では 27.5%であるのに対して、70 歳以上では 48.4%となっている。

図 1 b 岡崎市の住みやすさ（年齢別）



問７－１ 住みよいと思う理由

問７で「住みよい」、「まあ住みよい」と答えた人に住みよいと思う理由をうかがったところ、「買い物が便利である」との回答が 51.4%と最も多く、次いで「緑や自然環境が豊かである」との回答が多くなっている（43.6%）。

問７－１（問７で「住みよい」、「まあ住みよい」と回答した方のみ）

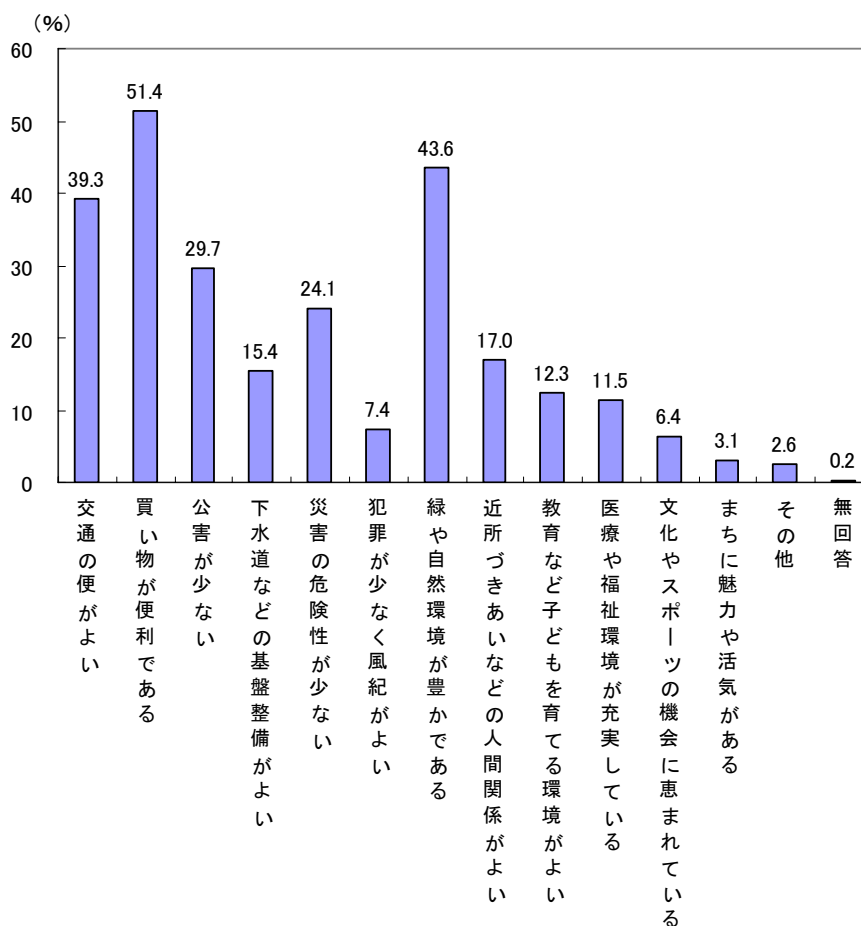
それはどういった理由からですか。次の中から主なものを最大３つまで選び、その番号を○で囲んでください。

表１－１ 住みよいと思う理由

（単位：人、％）

	全 体	交通の便がよい	買い物が便利である	公害が少ない	下水道などの基盤整備がよい	災害の危険性が少ない	犯罪が少なく風紀がよい	緑や自然環境が豊かである	近所づきあいなどの人間関係がよい	教育など子どもを育てる環境がよい	医療や福祉環境が充実している	文化やスポーツの機会に恵まれている	まちに魅力や活気がある	その他	無回答
回答者数	2,420	950	1,244	718	372	584	179	1,055	411	298	279	154	76	64	6
割合	100.0	39.3	51.4	29.7	15.4	24.1	7.4	43.6	17.0	12.3	11.5	6.4	3.1	2.6	0.2

図１－１ 住みよいと思う理由



N=2,420

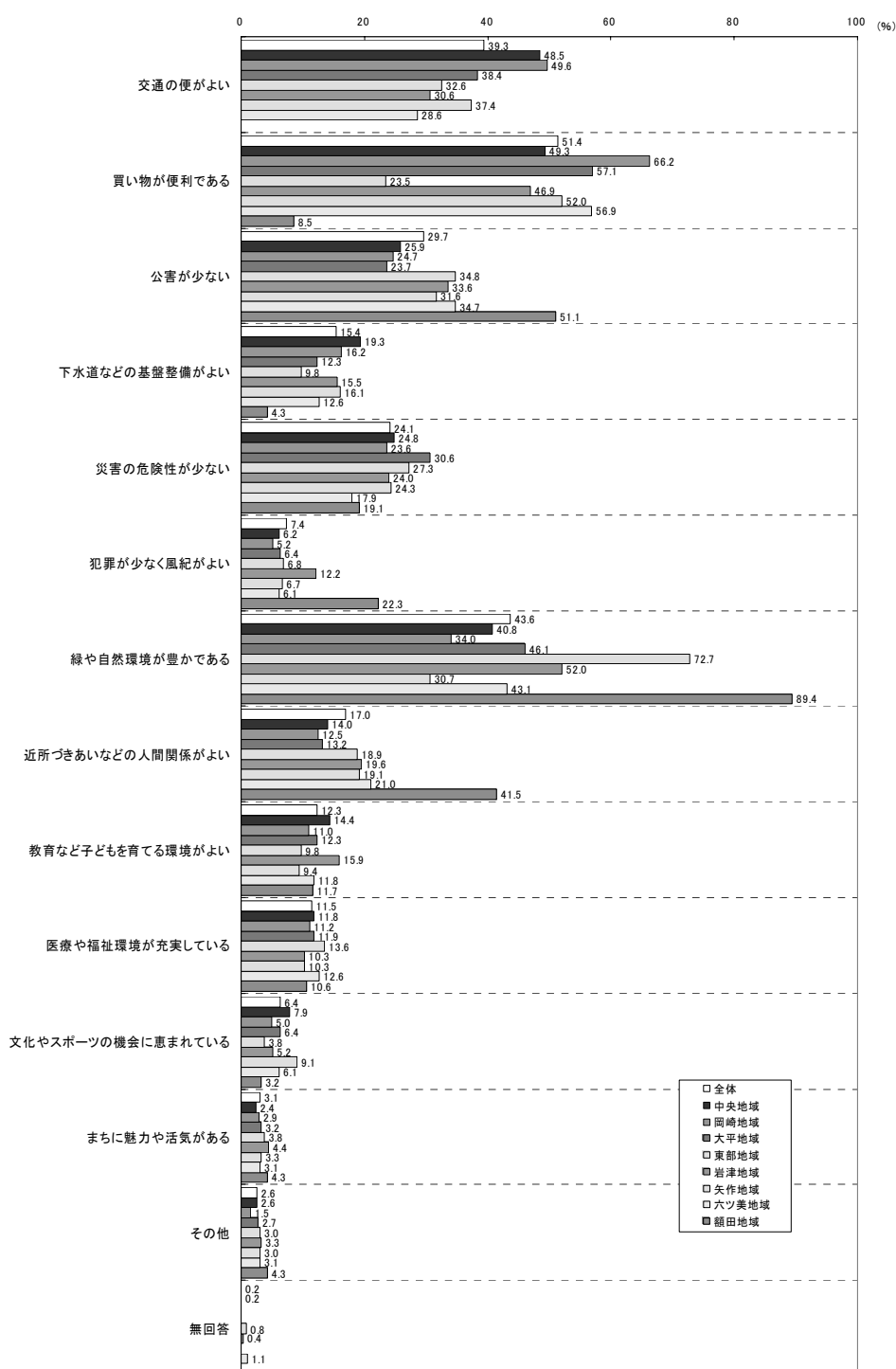
＜地域別＞

地域別にみると、全体でもっとも多かった「買い物が便利である」と答えた人は岡崎地域で多く、66.2%となっている。一方で、額田地域、東部地域においては、それぞれ 8.5%、23.5%と、全体の回答の 6 分の 1 程度、2 分の 1 程度となっている。

全体で次に多かった「緑や自然環境が豊かである」と答えた人は額田地域で 89.4%、東部地域で 72.7%と特に多くなっている。

「交通の便がよい」と答えた人は、全体が約 4 割であるのに対し、額田地域では該当がなかった。

図 1－1 a 住みよいと思う理由（地域別）



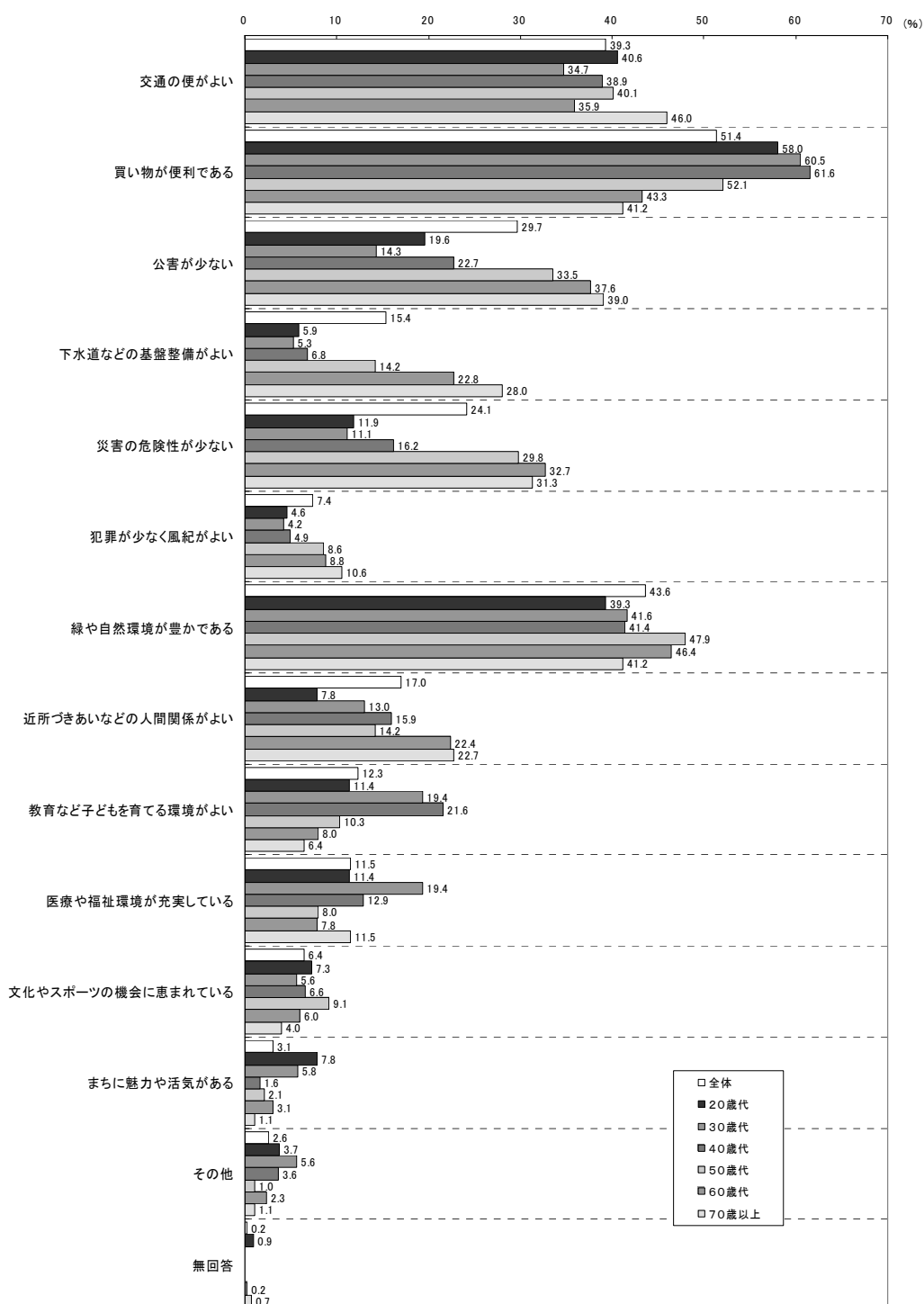
<年齢別>

年齢別にみると、全体でもっとも多かった「買い物が便利である」と答えた人は40歳代、30歳代で多く、それぞれ61.6%、60.5%と6割に達している。

一方、全体で次に多かった「緑や自然環境が豊かである」と答えた人は50歳代、60歳代で多く、それぞれ47.9%、46.4%となっている。

また、「教育など子どもを育てる環境がよい」との回答は、30～40歳代での指摘が高く、40歳代で21.6%、30歳代で19.4%となっており、全体では8番目であるのに対し、30歳代、40歳代ではそれぞれ4番目、5番目に挙がっている。

図1-1b 住みよいと思う理由（年齢別）



問 7-2 住みにくいと思う理由

問 7 で「住みにくい」「やや住みにくい」と答えた人に、住みにくいと思う理由についてうかがったところ、「交通の便が悪い」「買い物が不便である」との回答がそれぞれ 56.9%、38.9%となっており、他の理由と大きく差が開いている。問 7-1 住みよいと思う理由では、「交通の便がよい」「買い物が便利である」との回答がそれぞれ 3 番目、1 番目に位置していることから、居住地域や年齢等の属性、自家用車の所有の有無等により、二分されていると考えられる。

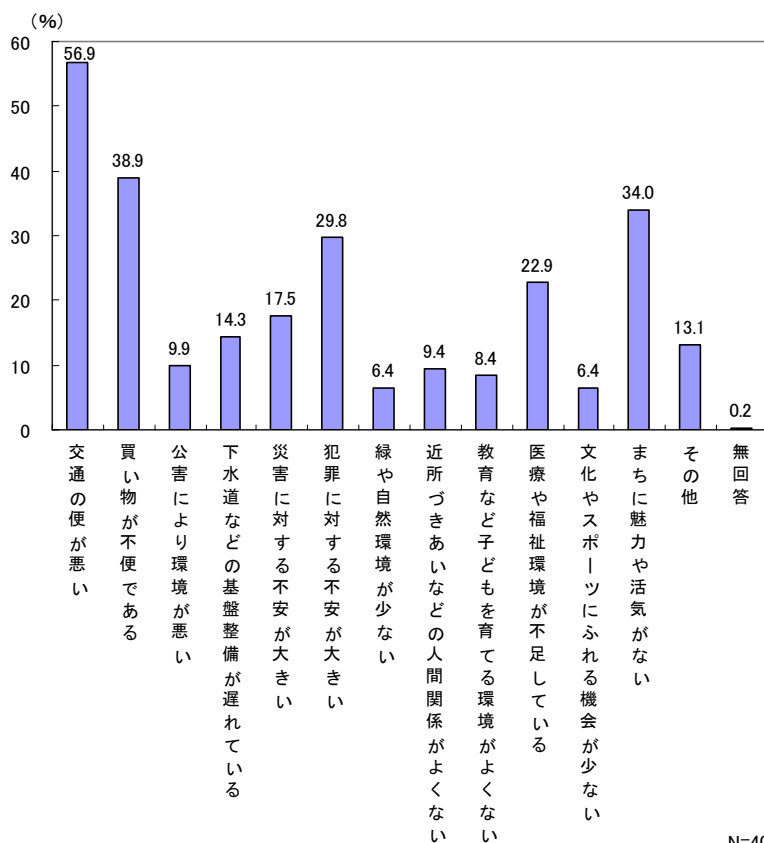
問 7-2（問 7 で「やや住みにくい」「住みにくい」と回答した方のみ）
それはどういった理由からですか。次の中から主なものを最大 3 つまで選び、その番号を○で囲んでください。

表 1-2 住みにくいと思う理由

(単位：人、%)

	全 体	交通の便が悪い	買い物が不便である	公害により環境が悪い	下水道などの基盤整備が遅れている	災害に対する不安が大きい	犯罪に対する不安が大きい	緑や自然環境が少ない	近所づきあいなどの人間関係がよくない	教育など子どもを育てる環境がよくない	医療や福祉環境が不足している	文化やスポーツにふれる機会が少ない	まちに魅力や活気がない	その他	無回答
回答者数	406	231	158	40	58	71	121	26	38	34	93	26	138	53	1
割合	100.0	56.9	38.9	9.9	14.3	17.5	29.8	6.4	9.4	8.4	22.9	6.4	34.0	13.1	0.2

図 1-2 住みにくいと思う理由



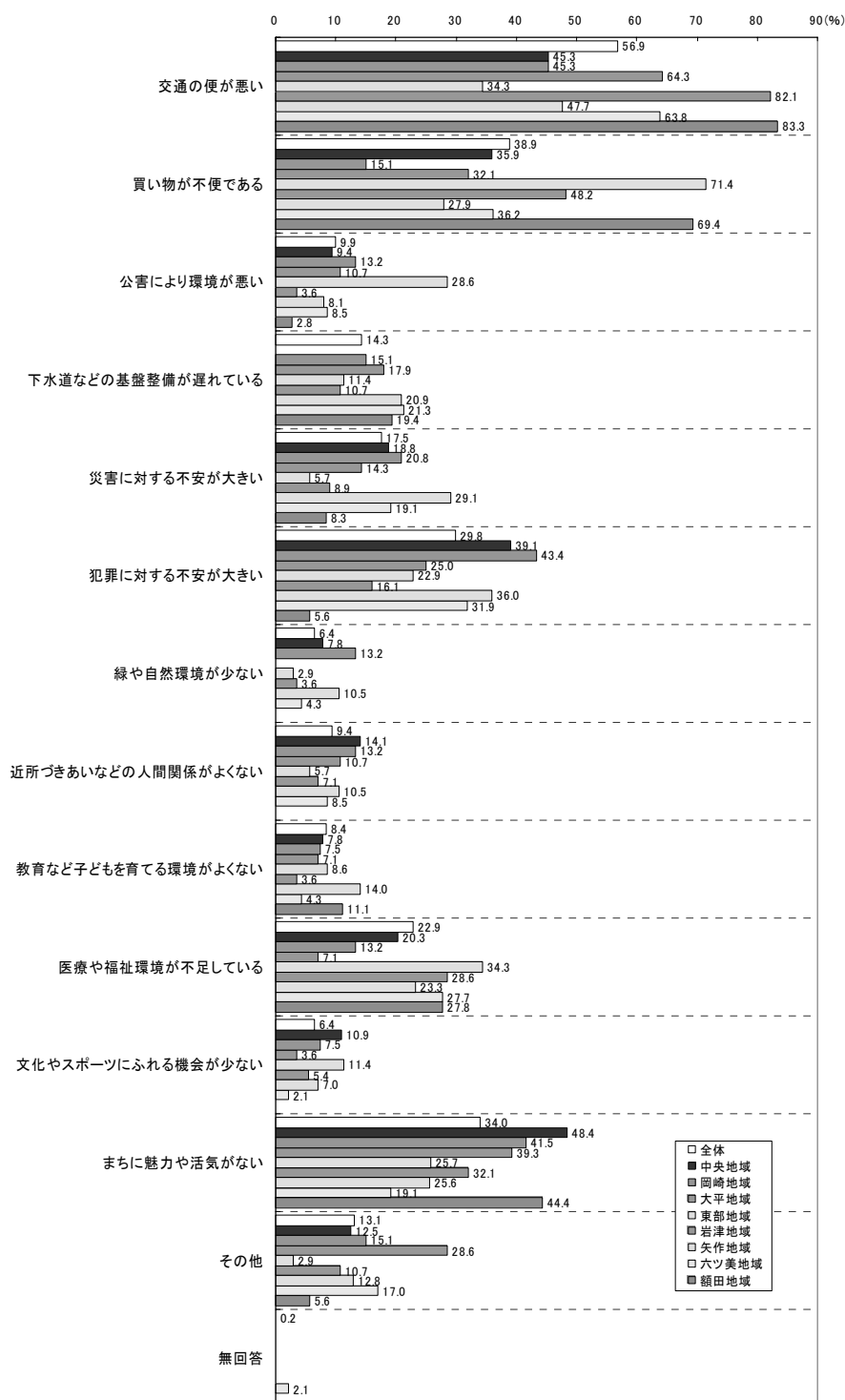
N=406

＜地域別＞

地域別にみると、「交通の便が悪い」との答えが多かったのは額田地域で、83.3%となっている。また岩津地域でも 82.1%と高い数値となっている。額田地域については、合併により岡崎市となり、岡崎市中心部へ行く機会が増加したものの、公共交通機関および幹線道路へのアクセスが悪いことが要因となっている可能性があると考えられる。

「買い物が不便である」との答えが多かったのは、東部地域（71.4%）、額田地域（69.4%）である。中央地域、岡崎地域の市の中心部に近い地域で「まちに魅力や活気がない」と回答が多くなっており、中心部の賑わい再生が課題といえる。

図 1－2a 住みにくいと思う理由（地域別）



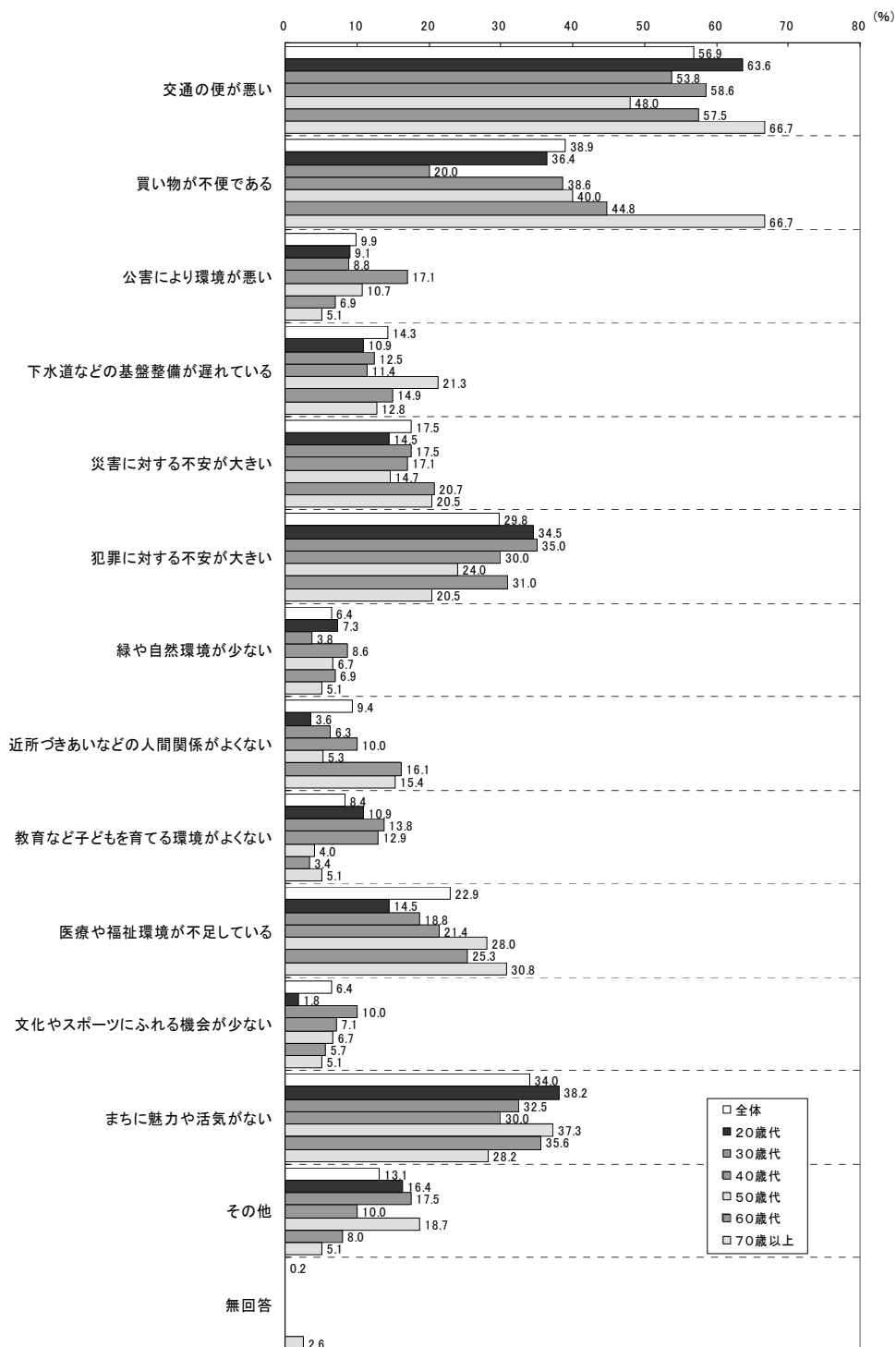
＜年齢別＞

年齢別にみると、「交通の便が悪い」と答えた人が多かったのは20歳代と70歳以上で、それぞれ6割を超えている。これは、若年者層は公共交通機関の利用率が比較的高く、また高齢者層は自家用車利用率が比較的低く、公共交通機関の利便性を求めるためと考えられる。他の年代層でも約5割となっている。

70歳以上では「買い物が不便である」と答えた人も同割合（66.7%）となっている。

「医療や福祉環境が不足している」との回答割合は高年層で高くなる傾向にある。

図1－2b 住みにくいと思う理由（年齢別）



問 8 居住継続意向

今後の居住継続に対する意向をうかがったところ、「ずっと住んでいたい」との回答が 62.3%と多く、「しばらくは住むつもりだ」(22.1%)、「市内の他の地域に移りたい」(2.1%)を含めて、9割近くの市民が引き続き岡崎市に住み続けたいと回答している。

前回(平成 18 年)、前々回(平成 14 年)と合わせた 3 時点の経年変化をみると、「ずっと住んでいたい」「しばらくは住むつもりだ」を合わせた市内居住に対する肯定的意見は平成 14 年(83.1%)、平成 18 年(84.3%)、平成 20 年(84.4%)とほぼ一定であり、8 割を超えている。

一方、「市外に移りたい」という市内居住に対する否定的意見は平成 14 年(2.8%)から平成 18 年(2.2%)にかけて減少したが、平成 20 年(2.3%)にかけてはほとんど変わらない。

問 8

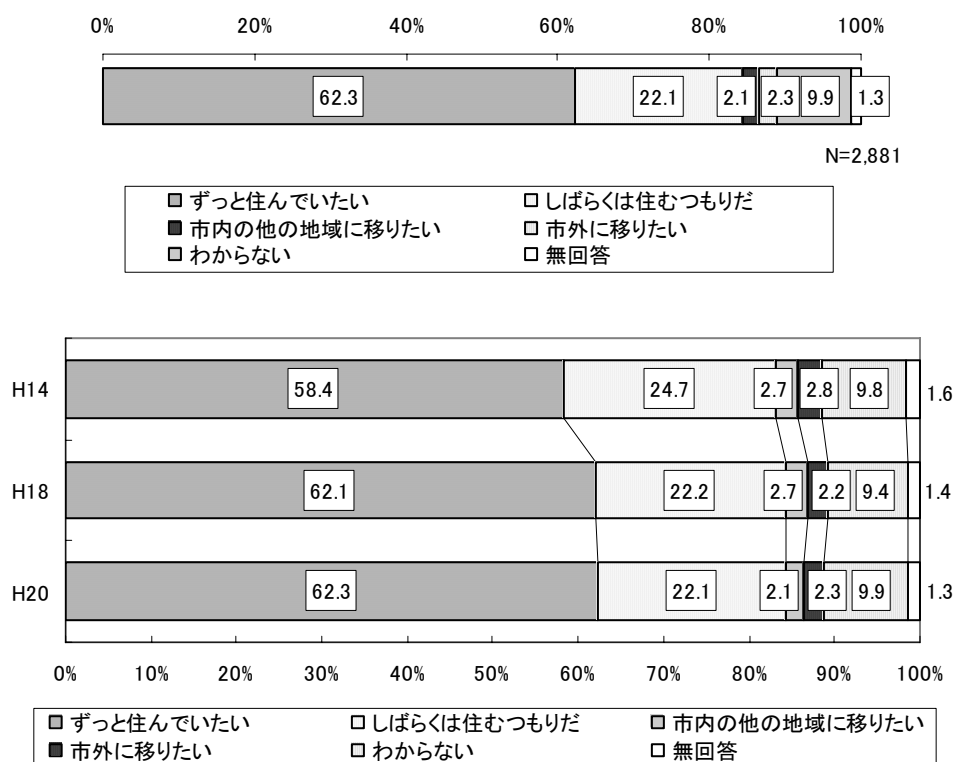
あなたは今後も岡崎のまちに住み続けたいと思いますか。次の中から 1 つ選び、その番号を○で囲んでください。

表 2 居住継続意向

(単位：人、%)

	全体	ずっと住んでいたい	しばらくは住むつもりだ	市内の他の地域に移りたい	市外に移りたい	わからない	無回答
回答者数	2,881	1,795	638	60	67	286	35
割合	100.0	62.3	22.1	2.1	2.3	9.9	1.3

図 2 居住継続意向(上段：単純、下段：経年変化)

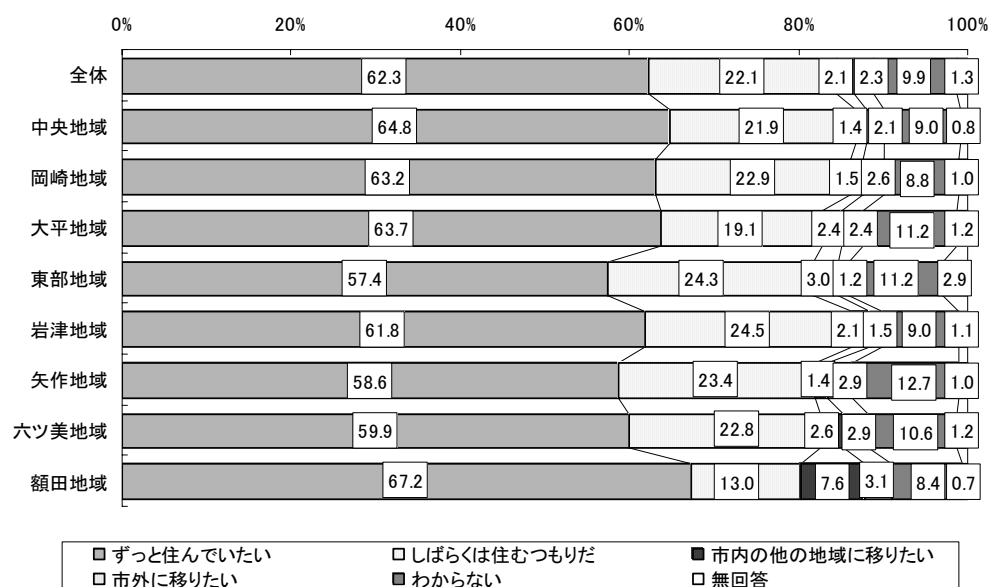


<地域別>

地域別にみると、「ずっと住んでいたい」と答えた人の割合が高いのは、額田地域（67.2%）、次いで中央地域（64.8%）となっているのに対し、もっとも低いのは東部地域で 57.4%となっている。

一方で、「市外に移りたい」と答えた人の割合が他地域と比して若干高かったのは、額田地域（3.1%）、矢作地域（2.9%）、六ツ美地域（2.9%）となっている。

図 2a 居住継続意向（地域別）

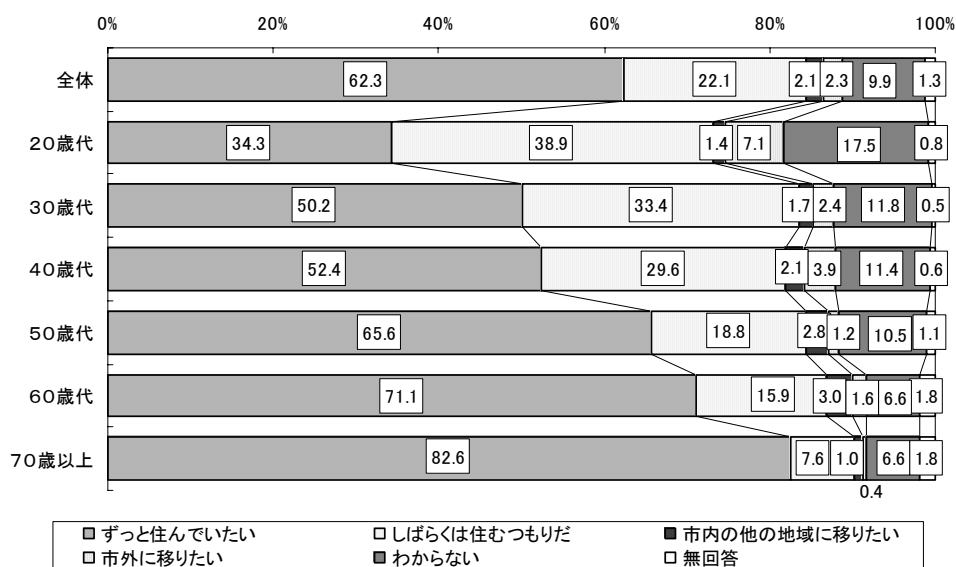


<年齢別>

年齢別にみると、「ずっと住んでいたい」との回答は、年齢が高くなるにつれ割合が高くなっており、20 歳代では 34.3%となっているのに対し、70 歳以上では 82.6%となっており、約 2.5 倍の差がみられる。

一方で、「市外に移りたい」と答えた人の割合は 20 歳代で 7.1%と他に比して高くなっている。

図 2b 居住継続意向（年齢別）



問9 市政関心度

市政に対する関心度をうかがったところ、「ある程度関心がある」との回答が 57.3%と最も多く、「非常に関心がある」と合わせて 69.2%の市民が市政に関心を寄せていることが読み取れる。

前回（平成 18 年）、前々回（平成 14 年）と合わせた 3 時点の経年変化をみると、「非常に関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた市政に対する関心のある層は、平成 14 年（66.8%）から平成 18 年（65.6%）、平成 20 年（69.2%）と、概ね高水準にあるといえる。

一方で「まったく関心がない」「あまり関心がない」を合わせた市政に対して関心のない層は、平成 14 年（32.5%）から平成 18 年（31.5%）にかけて微減し、平成 20 年（28.4%）にはさらに減少している。

市政への市民の関心は概ね高水準ではあるが、関心のない層も一定程度存在しており、その割合は時代によって多少の変化があるといえる。

問9

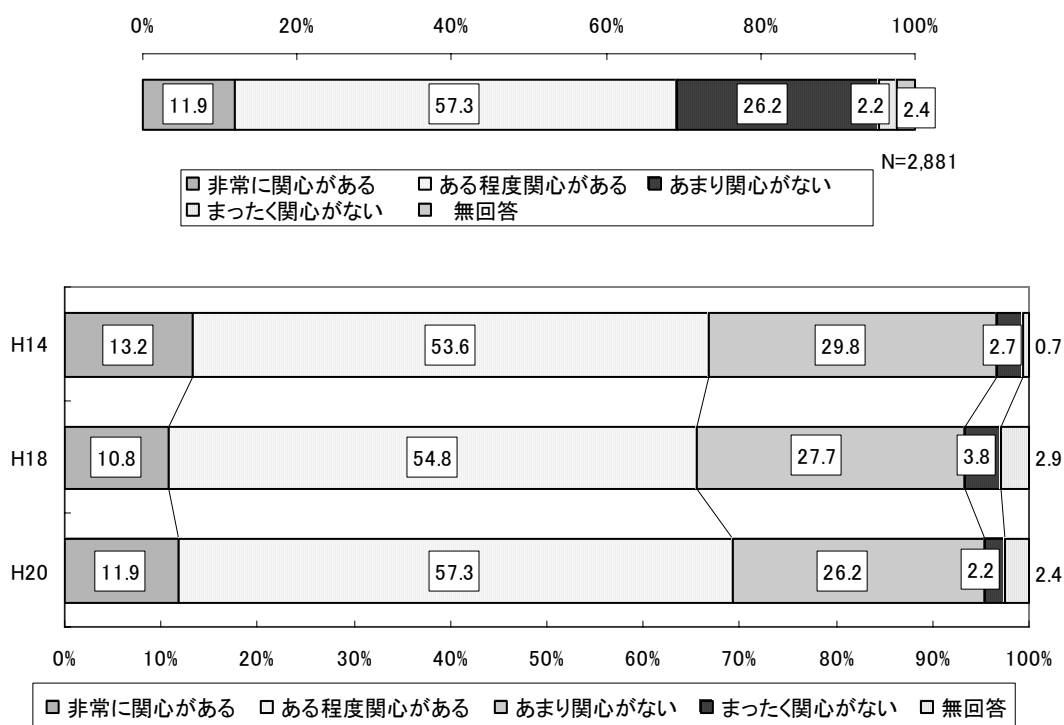
あなたは岡崎市の市政に関心をお持ちですか。次の中から 1 つ選び、その番号を○で囲んでください。

表3 市政関心度

（単位：人、％）

	全体	非常に関心 がある	ある程度関心 がある	あまり関心 がない	まったく関心 がない	無回答
回答者数	2,881	342	1651	756	63	69
割合	100.0	11.9	57.3	26.2	2.2	2.4

図3 市政関心度（上段：単純、下段：経年変化）

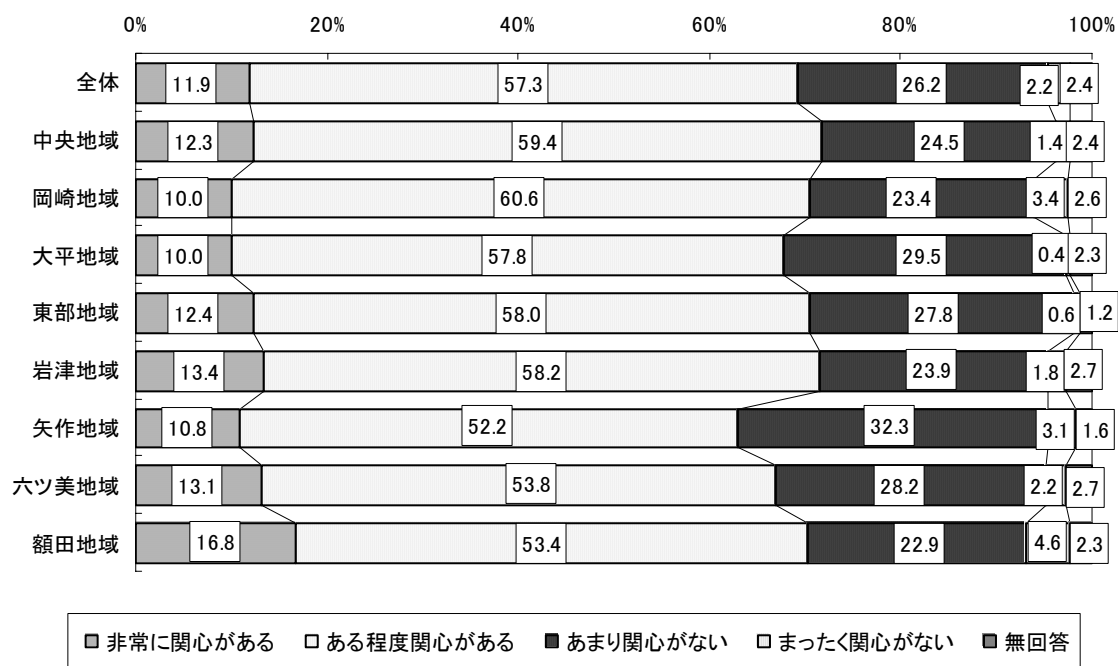


<地域別>

地域別にみると、「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」と答えた人を合わせると、中央地域（71.7%）と岩津地域（71.6%）、額田地域（70.2%）の順で高くなっている。なお、額田地域では「非常に関心がある」との答えが16.8%ともっとも高くなっている。

一方で、「あまり関心がない」、「まったく関心がない」と答えた人を合わせると、矢作地域（35.4%）、六ツ美地域（30.4%）、大平地域（29.9%）の順で高くなっている。「まったく関心がない」との回答は、額田地域（4.6%）、岡崎地域（3.4%）、矢作地域（3.1%）で多くなっている。

図 3a 市政関心度（地域別）

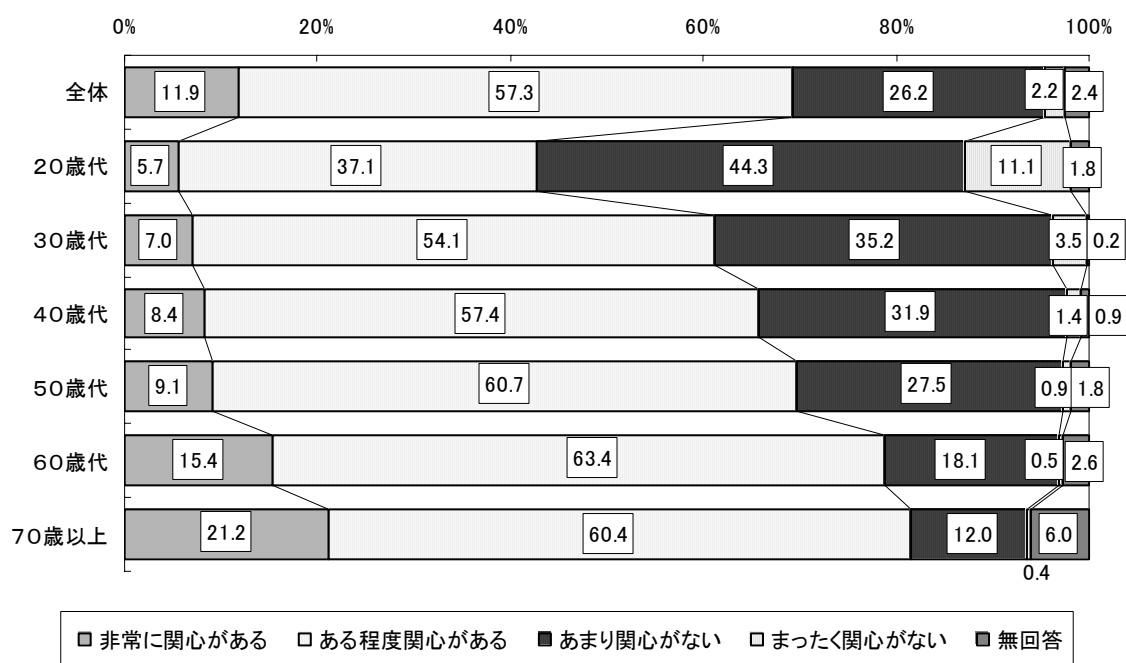


<年齢別>

年齢別にみると、「非常に関心がある」「ある程度関心がある」と答えた人は、年齢が高くなるにつれ割合が高くなっている。20歳代では42.8%であるが、30歳代から50歳代は60%から70%、60歳代と70歳以上は約8割と、概ね三層構造になっていることが見て取れる。また、60歳代、70歳以上の年齢層では、「非常に関心がある」との回答の割合が、15.4%、21.2%と高い値を示している。

一方で「まったく関心がない」との回答の割合は20歳代で非常に高く11.1%であり、全年代の平均（2.2%）の約5倍となっている。若年層に対して市政に関心をもってもらうための取り組みが課題といえる。

図 3b 市政関心度（年齢別）



問 9－1 市政に関心がある理由

市政に「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」と答えた人に関心がある理由をうかがったところ、「自分の暮らし向きに直接関係がある」（48.8％）との回答と、「自分の住む岡崎市をもっとよくしたい」（38.8％）との回答が大半を占めている。

問 9－1 （問 9 で「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」と回答した方のみ）

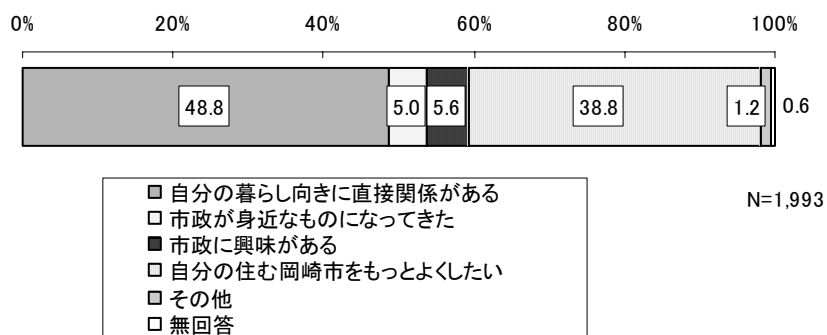
それはどういった理由からですか。次の中から主なものを 1 つ選び、その番号を○で囲んでください。

表 3－1 市政に関心がある理由

（単位：人、％）

	全体	自分の暮らし向きに 直接関係がある	岡崎市政が身近な ものになってきた	市政に興味がある	自分の住む岡崎市を もっとよくしたい	その他	無回答
回答者数	1,993	973	99	112	774	23	12
割合	100.0	48.8	5.0	5.6	38.8	1.2	0.6

図 3－1 市政に関心がある理由



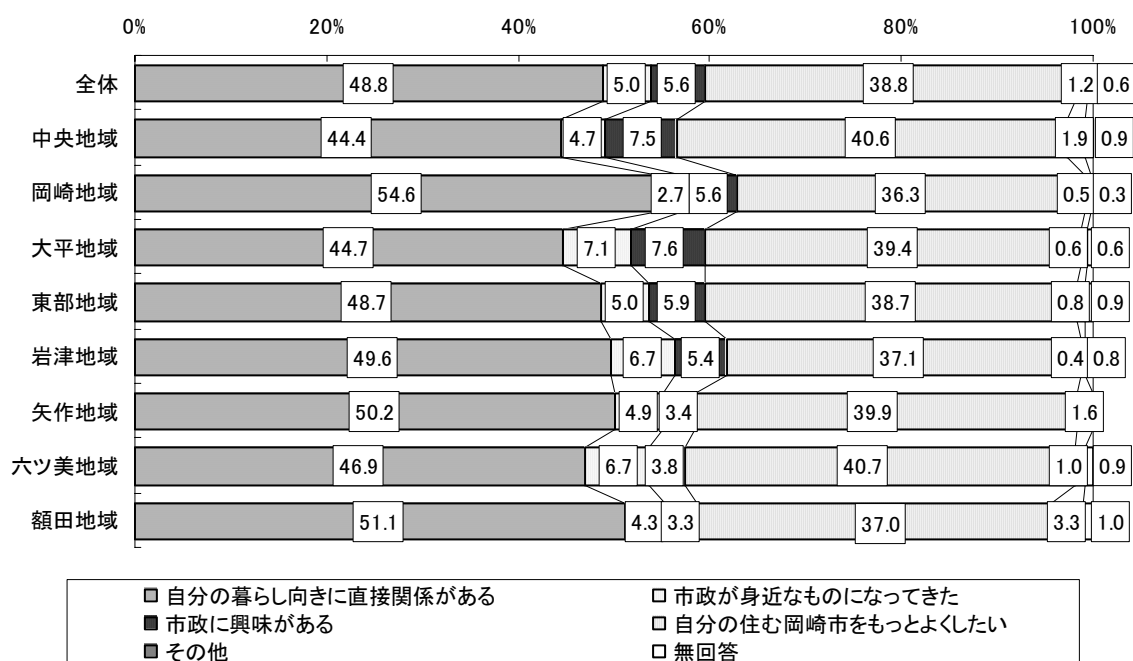
<地域別>

地域別にみると、「自分の暮らし向きに直接関係がある」と答えた人が多かったのは、順に岡崎地域（54.6%）、額田地域（51.1%）、矢作地域（50.2%）となっている。

次に、「自分の住む岡崎市をもっとよくしたい」と答えた人が多かったのは六ツ美地域（40.7%）、中央地域（40.6%）である。「自分の暮らし向きに直接関係がある」の回答では、回答率の高い地域（岡崎地域：54.6%）と回答率の低い地域（中央地域：44.4%）との差が10ポイントである。

一方、「自分の住む岡崎市をもっとよくしたい」の回答では、回答率の高い地域（六ツ美地域：40.7%）と回答率の低い地域（岡崎地域：36.3%）との差が4.4ポイントにとどまっている。「自分の住む岡崎市をもっとよくしたい」の回答では、「自分の暮らし向きに直接関係がある」との回答に比べると、あまり地域差が見られない。

図 3-1a 市政に関心がある理由（地域別）



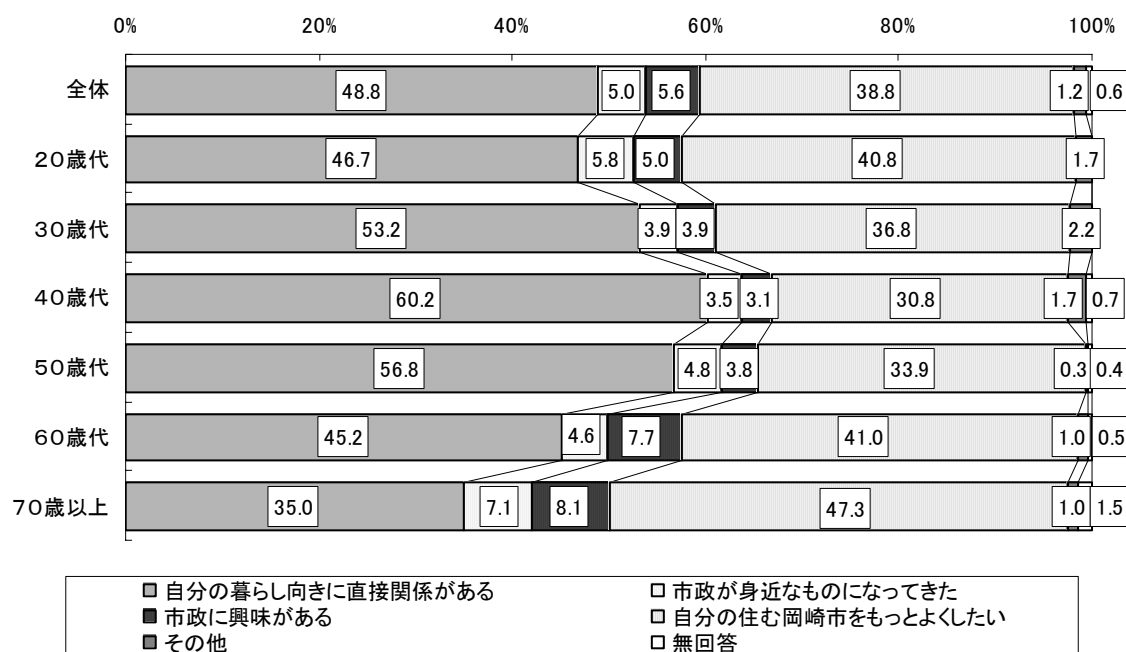
<年齢別>

年齢別にみると、30歳代から50歳代にかけては、「自分の暮らし向きに直接関係がある」と答えた人の割合が50%を超えている。40歳代をピークに、割合が低くなっている。

一方で、「自分の住む岡崎市をもっとよくしたい」と答えた人が47.3%ともっとも高くなったのは70歳以上である。60歳代、20歳代も4割以上である。

また、「岡崎市政が身近なものになってきた」「市政に興味がある」と回答した中で、70歳以上の割合はそれぞれ7.1%、8.1%となっており、他の年齢層と比して高い。一方、これらの回答では、40歳代の割合が低くなっている。

図 3-1b 市政に関心がある理由（年齢別）



問 9－2 市政に関心を持ってもらう施策

現時点で市政に関心を持っていない方に対し、市政に関心を持ってもらうための施策についてうかがったところ、「岡崎市をもっと魅力的なまちにする」との回答が 39.2% ともっとも多くなっており、他の選択肢に大差をつけている。次いで「いろいろなメディアを使って市政を PR する」（14.0%）が多くなっている。

問 9－2（問 9 で「あまり関心がない」、「まったく関心がない」と回答した方のみ）

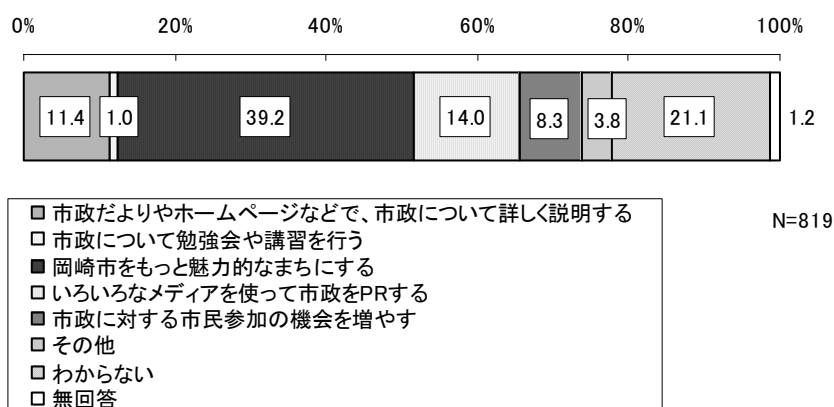
市政に関心を持ってもらうには、どのようにしたらよいと思いますか。次の中から 1 つ選び、その番号を○で囲んでください。

表 3－2 市政に関心を持ってもらう施策

（単位：人、％）

	全体	市政だよりやホームページなどで、市政について詳しく説明する	市政について勉強会や講習を行う	岡崎市をもっと魅力的なまちにする	いろいろなメディアを使って市政をPRする	市政に対する市民参加の機会を増やす	その他	わからない	無回答
回答者数	819	93	8	321	115	68	31	173	10
割合	100.0	11.4	1.0	39.2	14.0	8.3	3.8	21.1	1.2

図 3－2 市政に関心を持ってもらう施策



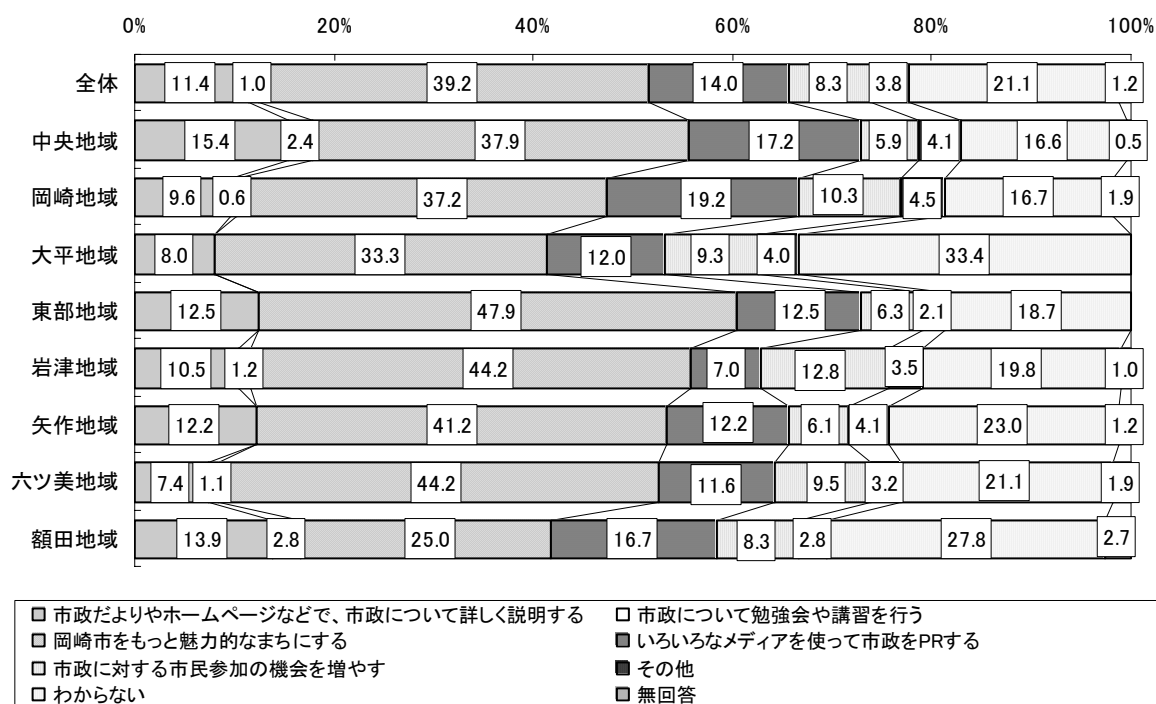
<地域別>

地域別にみると、「岡崎市をもっと魅力的なまちにする」との回答が多かったのは東部地域（47.9%）、岩津地域（44.2%）、六ツ美地域（44.2%）であり、全体で次に回答の多かった「いろんなメディアを使って市政をPRする」が多かったのは岡崎地域（19.2%）、中央地域（17.2%）である。

また、「市政に対する市民参加の機会を増やす」との回答が多かったのは岩津地域（12.8%）、岡崎地域（10.3%）である。

中央地域では、いずれかの施策（その他含む）を行うべきと答えた人の割合が高く、82.9%となっている。

図 3-2a 市政に関心を持ってもらう施策（地域別）



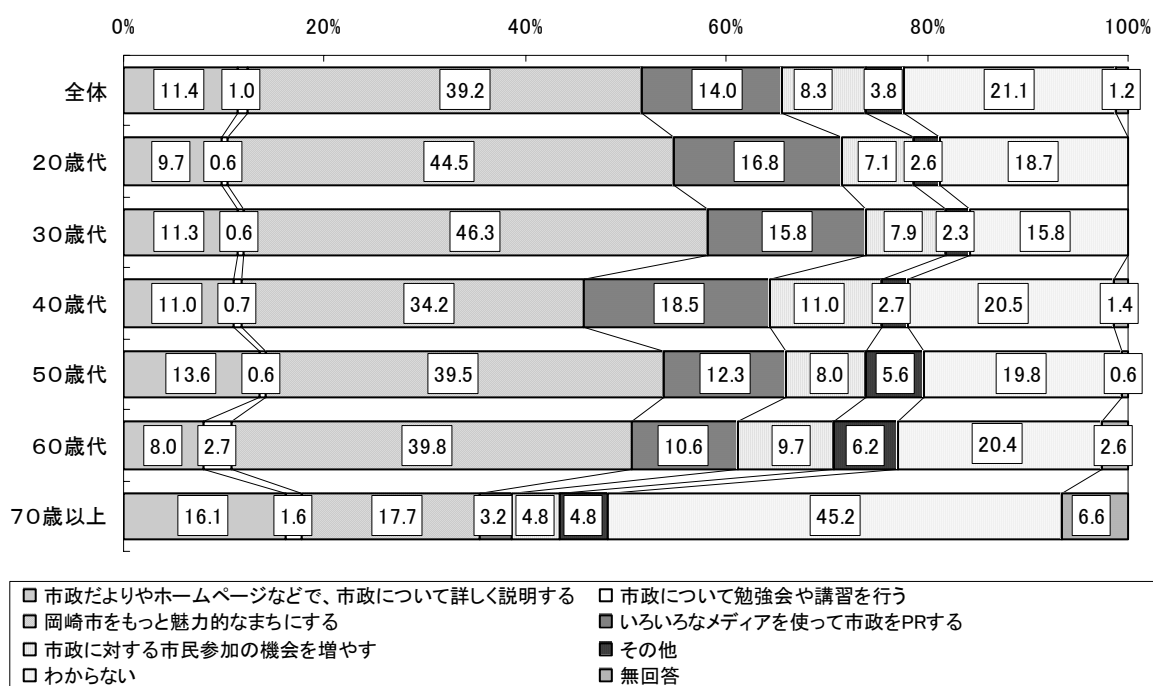
<年齢別>

年齢別にみると、20歳代から30歳代にかけては、「岡崎市をもっと魅力的なまちにする」との回答が約45%となっている。

70歳以上は「岡崎市をもっと魅力的なまちにする」が17.7%ともっとも多いが、「市政だよりやホームページなどで、市政について詳しく説明する」との回答も多く（16.1%）、ほぼ拮抗している。

40歳代は「いろいろなメディアを使って市政をPRする」、「市政に対する市民参加の機会を増やす」、「市政だよりやホームページなどで、市政について詳しく説明する」との回答も多く、それぞれ18.5%、11.0%、11.0%となっている。

図 3-2b 市政に関心を持ってもらう施策（年齢別）



C 市民参加のまちづくりについて

問 10-1 「市民参加によるまちづくりの取り組み」への過去 1 年間での参加

「市民参加によるまちづくりの取り組み」に過去 1 年間で参加したかをうかがったところ、「資源回収やごみの分別・リサイクル活動」への参加経験は高く 55.4%であり、2 番目に高い「環境保全や清掃活動など、地域の環境を守る活動」は 45.6%となっている。そのほかの活動への参加経験はあまり高くない。

問 10-1

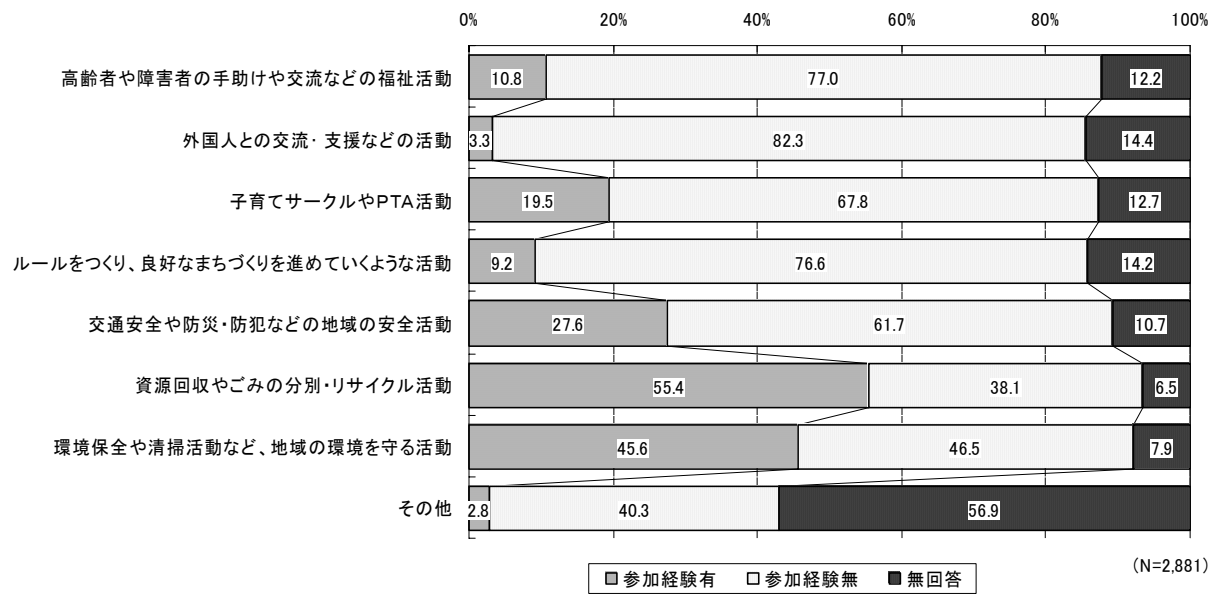
地域をよりよくしていくための「市民参加によるまちづくりの取り組み」について、過去 1 年の間で参加したことがありますか。それぞれの項目について、1 度でもあれば「有」に、無ければ「無」に、○を付けてください。

表 8-1 「市民参加によるまちづくりの取り組み」への参加

(単位：人、%)

	全 体	参加経験 有	参加経験 無	無回答
1 高齢者や障害者の手助けや交流などの福祉活動	2,881	310	2,218	353
	100.0	10.8	77.0	12.2
2 外国人との交流・支援などの活動	2,881	96	2,372	413
	100.0	3.3	82.3	14.4
3 子育てサークルやPTA活動	2,881	561	1,954	366
	100.0	19.5	67.8	12.7
4 ルールをつくり、良好なまちづくりを進めていくような活動	2,881	266	2,208	407
	100.0	9.2	76.6	14.2
5 交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動	2,881	795	1,778	308
	100.0	27.6	61.7	10.7
6 資源回収やごみの分別・リサイクル活動	2,881	1,595	1,099	187
	100.0	55.4	38.1	6.5
7 環境保全や清掃活動など、地域の環境を守る活動	2,881	1,314	1,340	227
	100.0	45.6	46.5	7.9
8 その他	2,881	80	1,160	1,641
	100.0	2.8	40.3	56.9

図 8-1 「市民参加によるまちづくりの取り組み」への参加（上段：有無、下段：有のみ）



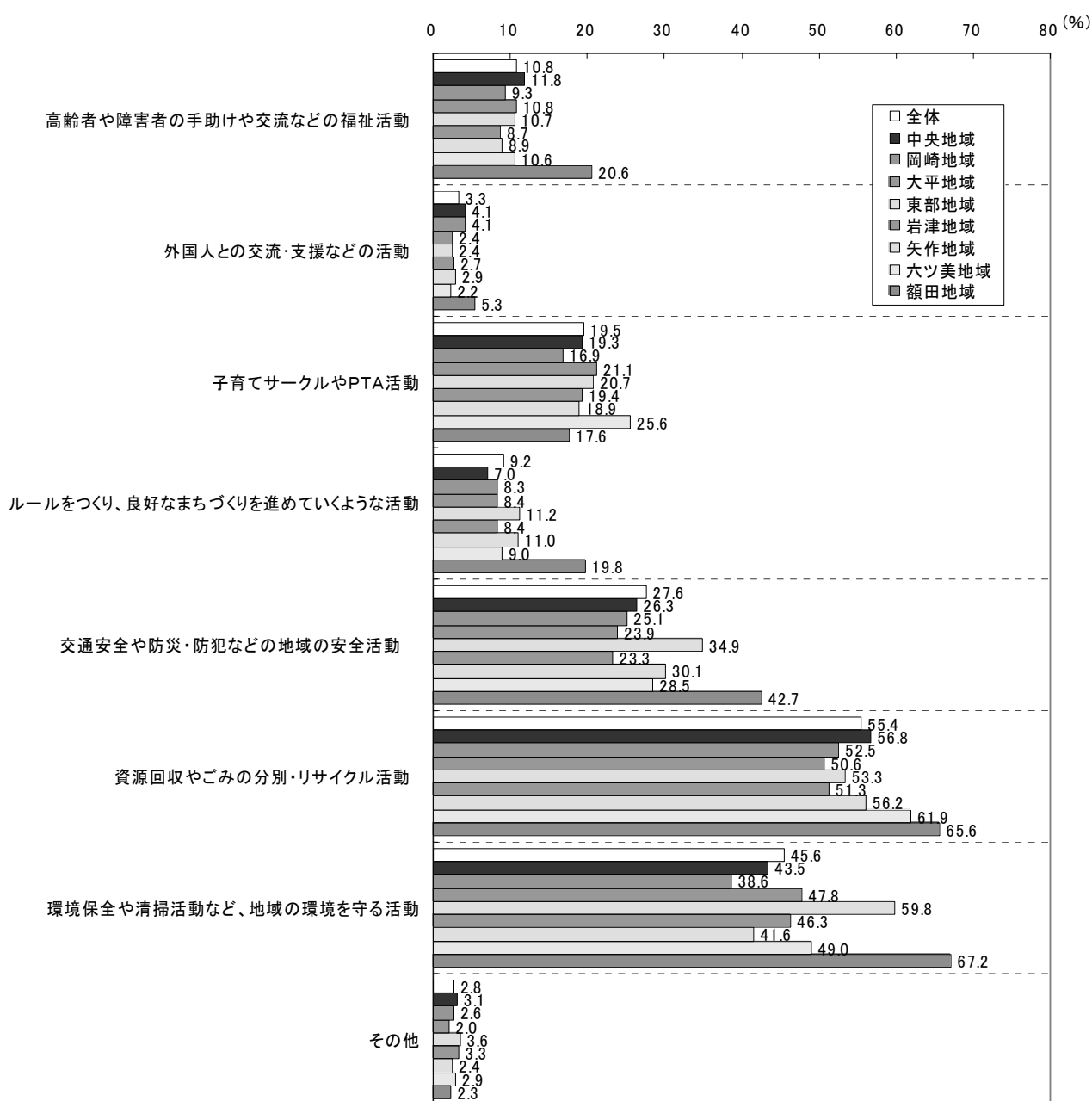
＜地域別＞

地域別にみると、額田地域では「子育てサークルやPTA活動」と「その他」以外の全ての活動において、他地域より参加経験の割合が高くなっている。「環境保全や清掃活動など、地域の環境を守る活動」には 67.2%の回答者が参加経験を有しており、上記以外の活動についても、他地域と比較して 2 倍近い参加経験の割合となっているものが多い。

このことから、額田地域では、伝統的な地域コミュニティ内の相互互助が色濃く残っていることがうかがえる。

額田地域以外では、東部地域で「環境保全や清掃活動など、地域の環境を守る活動」(59.8%)、「交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動」(34.9%) との回答割合が高い。

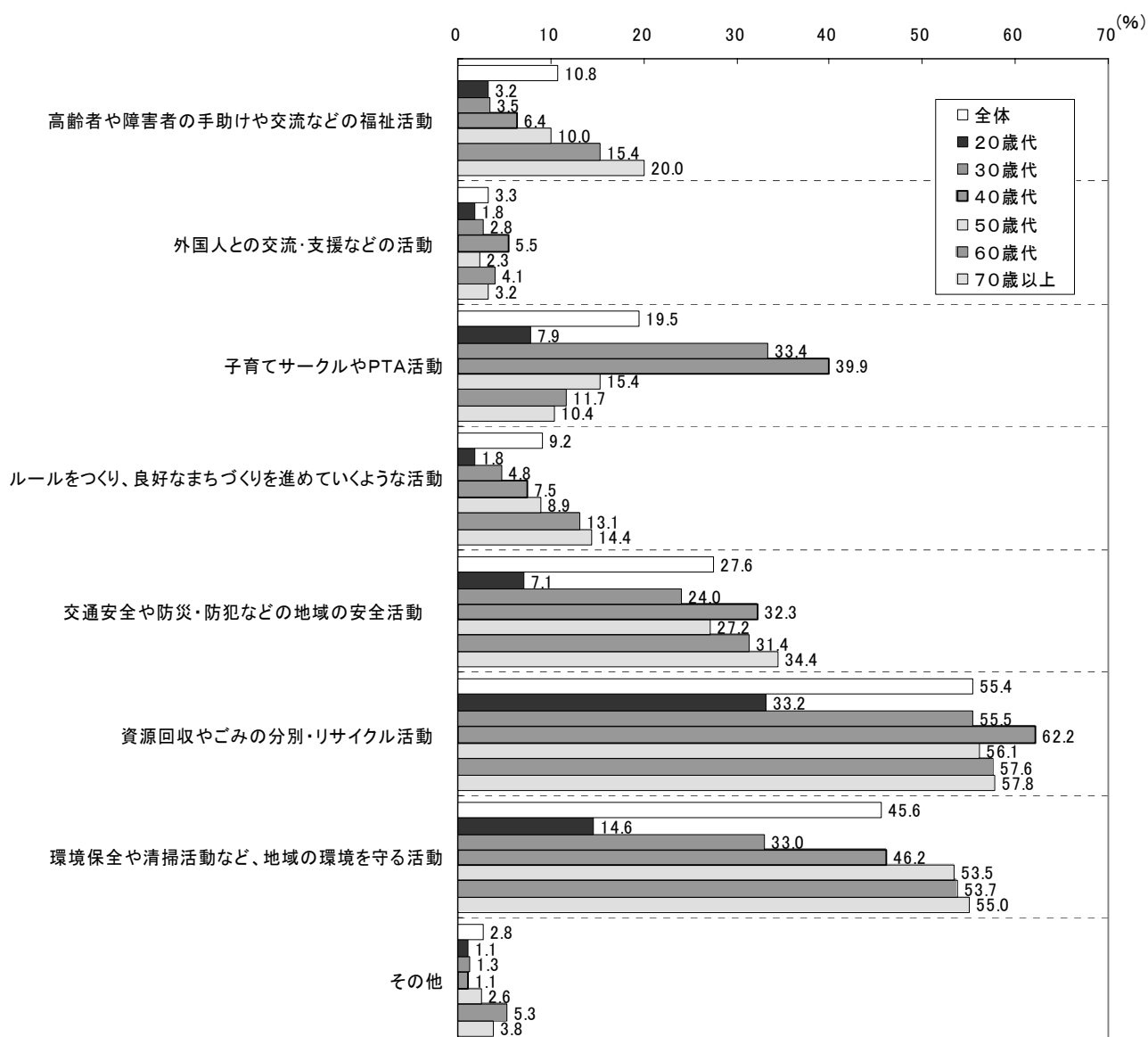
図 8-1a 「市民参加によるまちづくりの取り組み」への参加（地域別）



＜年齢別＞

年齢別にみると、「環境保全や清掃活動など、地域の環境を守る活動」、「交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動」、「ルールをつくり、良好なまちづくりを進めていくような活動」は年齢が低くなるにつれ参加経験率が低くなる傾向にあり、特に20歳代の参加経験率は低い。

図 8-1b 「市民参加によるまちづくりの取り組み」への参加（年齢別）



問 10-2 今後市民活動を活発化させていくために重要な取り組み

今後市民活動を活発化させていくために重要な取り組みについてうかがったところ、「環境保全や清掃活動など、地域の環境を守る活動」がもっとも多く 40.6%となっている。現状で 2 番目に参加経験率の高い項目であるが、環境への関心の高さがうかがえる。次に、「交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動」が 37.4%と多い。

問 10-2

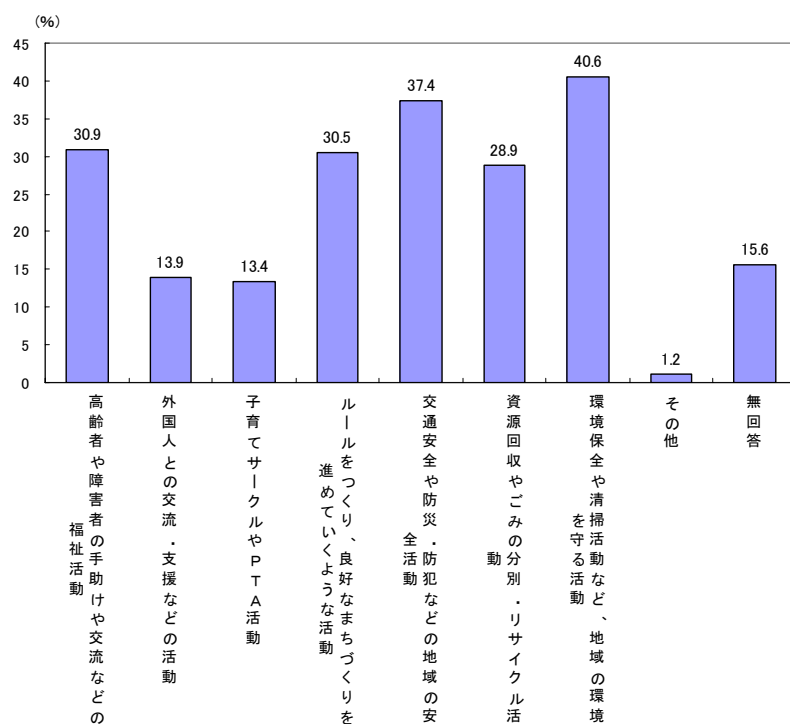
また、今後、どのような市民活動に参加したいとお考えですか。上記 1～7の中から、あなたのお考えにもっとも近いものを最大3つまで選び、その番号を記入してください。

表 8-2 市民活動活発化のために重要な取り組み

(単位：人、%)

	全 体	高 齢 者 や 障 害 者 の 手 助 け や 交 流 な ど の 福 祉 活 動	外 国 人 と の 交 流 ・ 支 援 な ど の 活 動	子 育 て サ ー ク ル や P T A 活 動	ル ー ル を つ く り 、 良 好 な ま ち づ く り を 進 め て い く よ う な 活 動	交 通 安 全 や 防 災 ・ 防 犯 な ど の 地 域 の 安 全 活 動	活 動	資 源 回 収 や ご み の 分 別 ・ リ サ イ ク ル	環 境 を 守 る 活 動	環 境 保 全 や 清 掃 活 動 な ど 、 地 域 の 環 境 を 守 る 活 動	そ の 他	無 回 答
回答者数	2,881	891	400	387	878	1,078	834	834	1,171	35	450	
割合	100.0	30.9	13.9	13.4	30.5	37.4	28.9	28.9	40.6	1.2	15.6	

図 8-2 市民活動活発化のために重要な取り組み

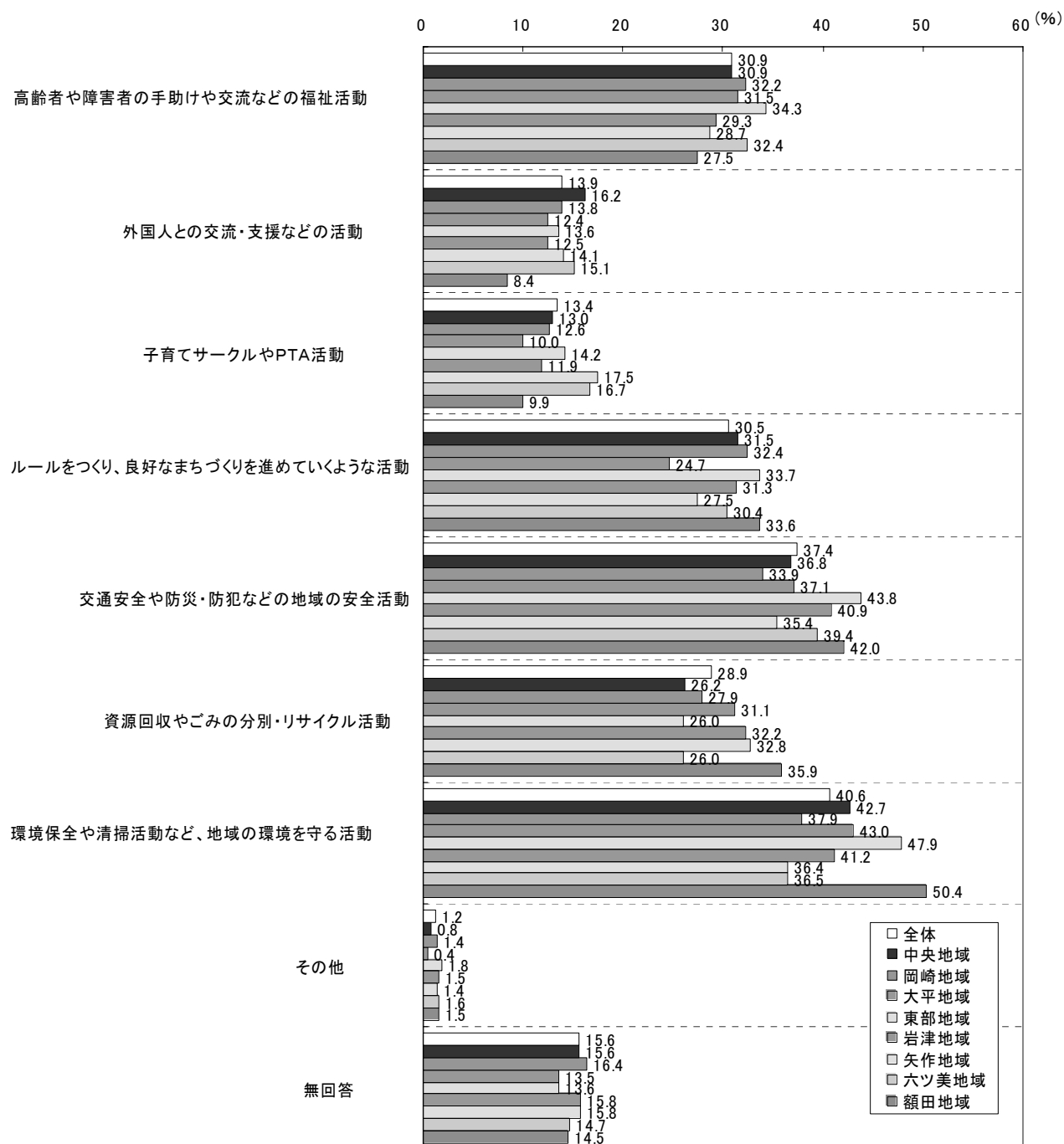


(N=2,881)

＜地域別＞

地域別にみると、「環境保全や清掃活動など、地域の環境を守る活動」と答えた割合が高いのは、額田地域（50.4%）、東部地域（47.9%）である。どの地域でも2番目に高い回答は、「交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動」であり、地域間での差異はあまりないが、そのなかで岡崎地域（33.9%）、矢作地域（35.4%）は若干低くなっている。

図 8-2a 市民活動活発化のために重要な取り組み（地域別）

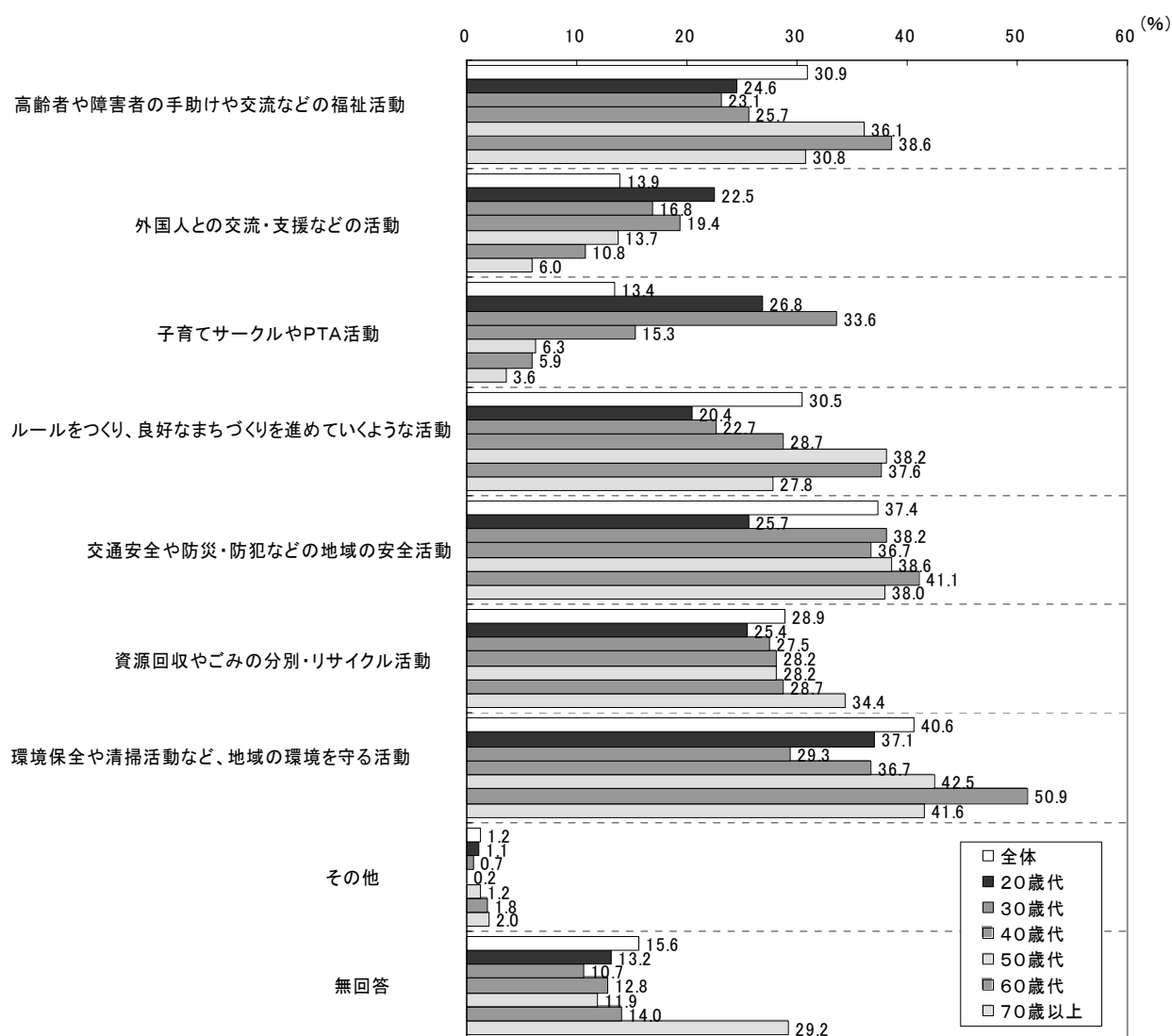


＜年齢別＞

年齢別にみると、「環境保全や清掃活動など、地域の環境を守る活動」、「高齢者や障害者の手助けや交流などの福祉活動」とも 50 歳代（それぞれ 42.5%、36.1%）、60 歳代（それぞれ 50.9%、38.6%）で他の年齢と比較して高くなっている。環境保全については 70 歳以上でも高い。

一方、20 歳代、30 歳代で高いのは「子育てサークルや PTA 活動」であり、この項目での世代間格差は他の項目と比して大きく、地域で住民が共に子どもを育てると意識共有が求められるところである。

図 8-2b 市民活動活発化のために重要な取り組み（年齢別）



問 1 1 市民活動を活性化させていくため重要な「行政の支援」

「市民参加によるまちづくり」を活性化していくために重要な「行政の支援」についてうかがったところ、「広報紙やホームページによる、まちづくりに関する情報提供の充実」が 49.4% ともっとも多く、次いで、「まちづくりへの関心や機運を高めるための交流イベント等の充実」が 36.9% となっている。

問 1 1

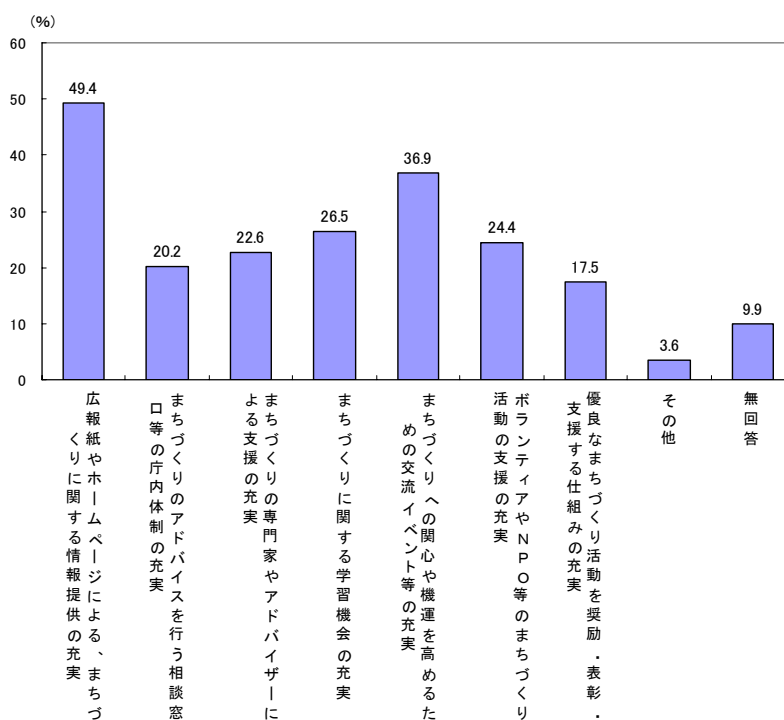
「市民参加によるまちづくり」を活性化していくために、今後、どのような「行政の支援」が重要だと考えますか。次の中から、あなたのお考えに最も近いものを最大 3 つまで選び、その番号を○で囲んでください。

表 9 市民活動活性化のために重要な行政支援

(単位：人、%)

	全体	広報紙やホームページによる、まちづくりに関する情報提供の充実	まちづくりのアドバイスを行う相談窓口等の充実	まちづくりの専門家やアドバイザーによる支援の充実	まちづくりに関する学習機会の充実	まちづくりへの関心や機運を高めるための交流イベント等の充実	ボランティアやNPO等のまちづくり活動の支援の充実	優良なまちづくり活動を奨励・表彰・支援する仕組みの充実	その他	無回答
回答者数	2,881	1,424	583	652	764	1,064	703	504	105	285
割合	100.0	49.4	20.2	22.6	26.5	36.9	24.4	17.5	3.6	9.9

図 9 市民活動活性化のために重要な行政支援



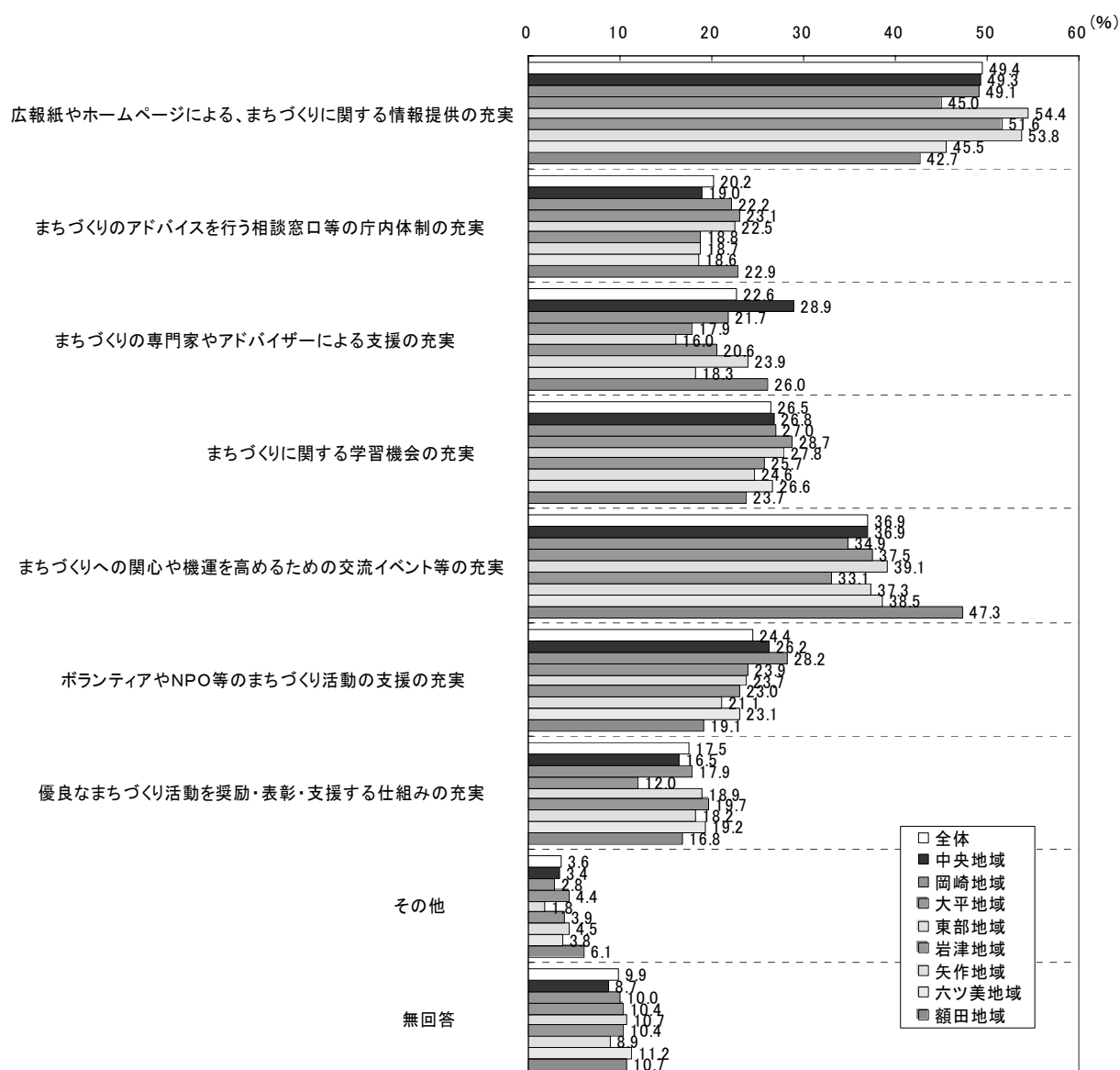
(N=2,881)

<地域別>

地域別にみると、「広報紙やホームページによる、まちづくりに関する情報提供の充実」と答えた人の割合が他地域と比較して低いのは額田地域（42.7%）と大平地域（45.0%）、六ツ美地域（45.5%）である。

一方、「まちづくりへの関心や機運を高めるための交流イベント等の充実」と答えた人の割合は、額田地域（47.3%）がもっとも高くなっており、5割近い。額田地域は平成18年に旧岡崎市に合併された地域であり、市の他地域との交流が十分でないと感じている可能性が考えられる。

図 9a 市民活動活性化のために重要な行政支援（地域別）

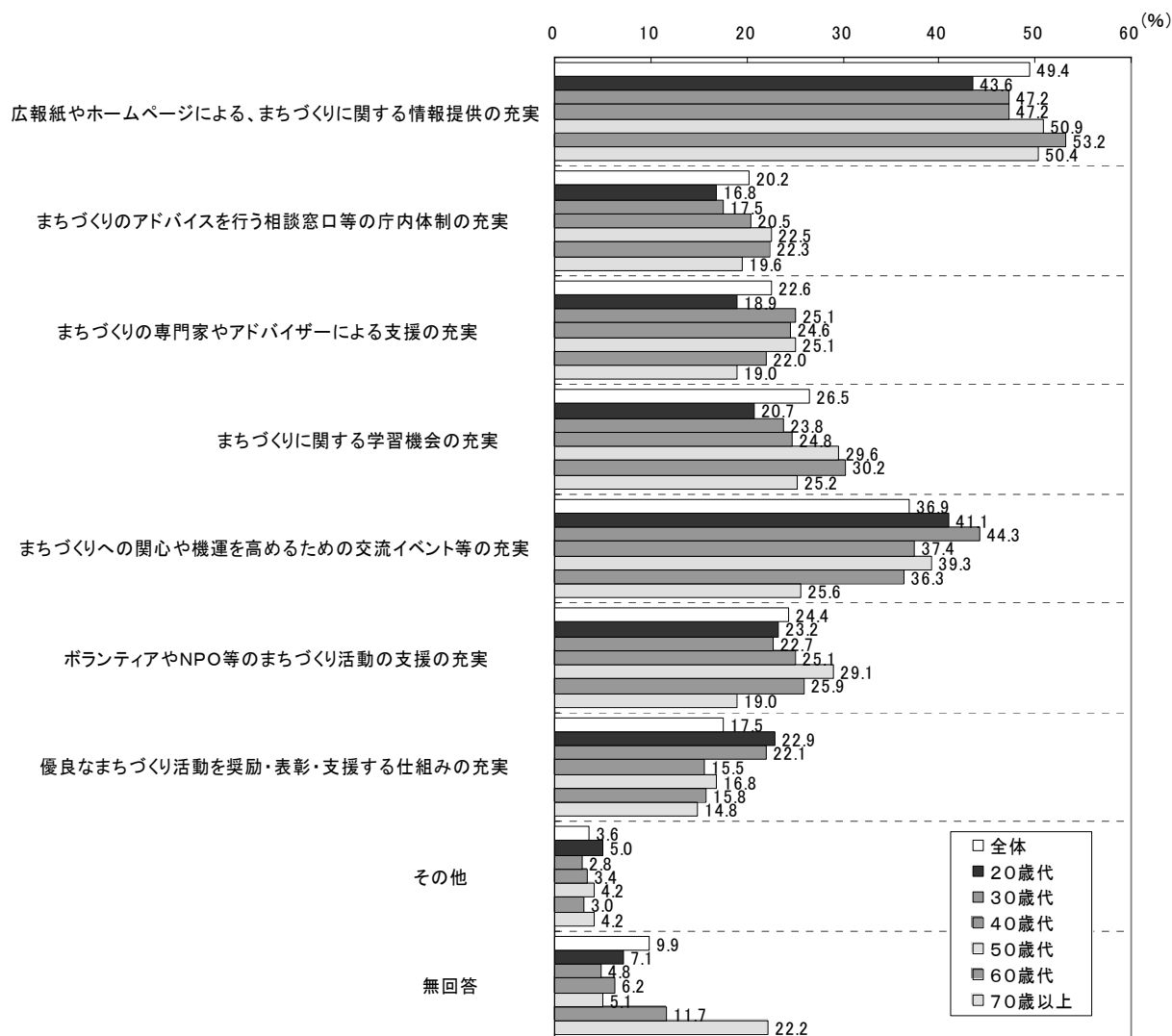


＜年齢別＞

年齢別にみると、「広報紙やホームページによる、まちづくりに関する情報提供の充実」と答えた人の割合は、年齢の高い層で相対的に高く、60歳代（53.2%）、50歳代（50.9%）70歳以上（50.4%）となっている。

「まちづくりへの関心や機運を高めるための交流イベント等の充実」と答えた人の割合は30歳代（44.3%）で高くなっている。イベント等の充実を求める声は若い世代で比較的多い。

図 9b 市民活動活性化のために重要な行政支援（年齢別）



D 市の取り組みに対する満足度・重要度について

問 1 2 (1) 市の行政施策に係る「現状の満足度」

市の行政施策に係る「現状の満足度」をうかがったところ、「5 保健衛生の充実」(42.6%)、「6 地域医療の充実」(40.9%)の項目で「満足している」「やや満足している」の回答割合が高く、満足度が高い一方、「1 9 都市魅力の向上」(22.7%)、「1 1 社会保障の充実」(20.2%)の項目で「不満である」「やや不満である」の回答割合が高く、満足度が低くなっている。

問 1 2

あなたは市の行政施策について、どのようにお考えですか。以下のそれぞれの取り組みに係る「現状の満足度」と「今後の重要度」について、あなたのお考えにもっとも近いものをそれぞれ1つ選び、その番号を○で囲んでください。

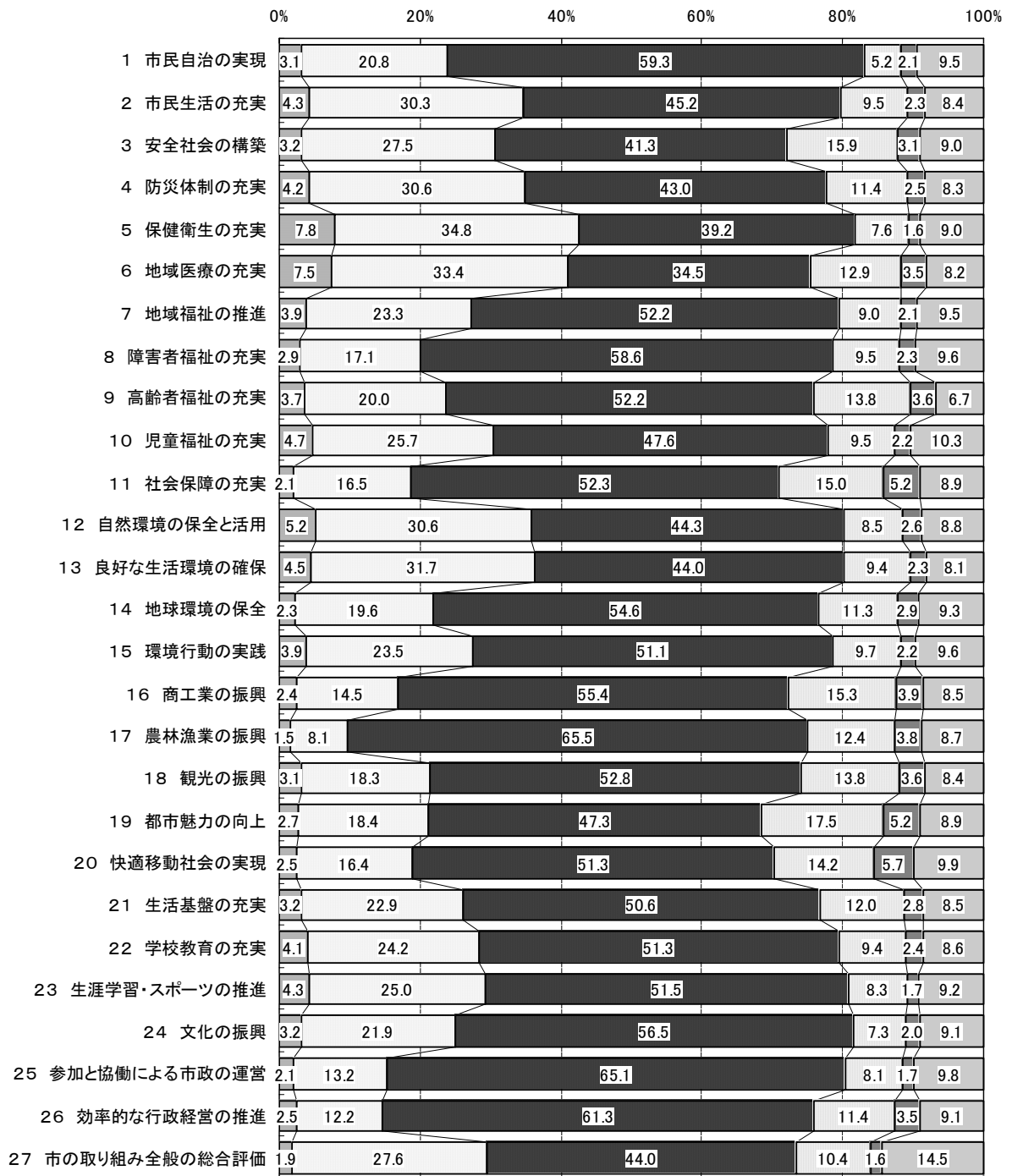
表 4 (1) 市の行政施策に係る「現状の満足度」

(単位：人、%)

問 1 2 (1) 市の行政施策に係る「現状の満足度」	全体	満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	無回答
1 市民自治の実現	2,881	89	599	1,708	150	60	275
	100.0	3.1	20.8	59.3	5.2	2.1	9.5
2 市民生活の充実	2,881	123	872	1,302	275	67	242
	100.0	4.3	30.3	45.2	9.5	2.3	8.4
3 安全社会の構築	2,881	92	791	1,190	457	90	261
	100.0	3.2	27.5	41.3	15.9	3.1	9.0
4 防災体制の充実	2,881	122	882	1,239	327	73	238
	100.0	4.2	30.6	43.0	11.4	2.5	8.3
5 保健衛生の充実	2,881	225	1,003	1,129	218	46	260
	100.0	7.8	34.8	39.2	7.6	1.6	9.0
6 地域医療の充実	2,881	217	961	993	373	101	236
	100.0	7.5	33.4	34.5	12.9	3.5	8.2
7 地域福祉の推進	2,881	112	671	1,505	259	61	273
	100.0	3.9	23.3	52.2	9.0	2.1	9.5
8 障害者福祉の充実	2,881	83	492	1,689	274	66	277
	100.0	2.9	17.1	58.6	9.5	2.3	9.6
9 高齢者福祉の充実	2,881	108	576	1,504	398	103	192
	100.0	3.7	20.0	52.2	13.8	3.6	6.7
1 0 児童福祉の充実	2,881	136	741	1,371	273	64	296
	100.0	4.7	25.7	47.6	9.5	2.2	10.3

問 1 2 (1) 市の行政施策に係る「現状の満足度」	全体	満足して いる	やや満足 している	どちらと も言えな い	やや不満 である	不満であ る	無回答
1 1 社会保障の充実	2,881	61	476	1,508	431	150	255
	100.0	2.1	16.5	52.3	15.0	5.2	8.9
1 2 自然環境の保全と活用	2,881	150	883	1,277	246	76	249
	100.0	5.2	30.6	44.3	8.5	2.6	8.8
1 3 良好な生活環境の確保	2,881	129	912	1,269	271	67	233
	100.0	4.5	31.7	44.0	9.4	2.3	8.1
1 4 地球環境の保全	2,881	66	566	1,573	325	84	267
	100	2.3	19.6	54.6	11.3	2.9	9.3
1 5 環境行動の実践	2,881	113	676	1,472	280	63	277
	100.0	3.9	23.5	51.1	9.7	2.2	9.6
1 6 商工業の振興	2,881	69	418	1,597	441	113	243
	100.0	2.4	14.5	55.4	15.3	3.9	8.5
1 7 農林漁業の振興	2,881	42	233	1,887	358	109	252
	100.0	1.5	8.1	65.5	12.4	3.8	8.7
1 8 観光の振興	2,881	88	527	1,522	399	103	242
	100.0	3.1	18.3	52.8	13.8	3.6	8.4
1 9 都市魅力の向上	2,881	79	530	1,363	503	149	257
	100.0	2.7	18.4	47.3	17.5	5.2	8.9
2 0 快適移動社会の実現	2,881	73	473	1,477	408	163	287
	100.0	2.5	16.4	51.3	14.2	5.7	9.9
2 1 生活基盤の充実	2,881	93	660	1,457	347	81	243
	100.0	3.2	22.9	50.6	12.0	2.8	8.5
2 2 学校教育の充実	2,881	117	697	1,479	270	70	248
	100.0	4.1	24.2	51.3	9.4	2.4	8.6
2 3 生涯学習・スポーツの推進	2,881	124	720	1,484	240	48	265
	100.0	4.3	25.0	51.5	8.3	1.7	9.2
2 4 文化の振興	2,881	93	631	1,629	211	58	259
	100.0	3.2	21.9	56.5	7.3	2.0	9.1
2 5 参加と協働による市政の運営	2,881	61	379	1,875	232	50	284
	100.0	2.1	13.2	65.1	8.1	1.7	9.8
2 6 効率的な行政経営の推進	2,881	72	352	1,766	328	101	262
	100.0	2.5	12.2	61.3	11.4	3.5	9.1
2 7 市の取り組み全般の総合評価	2,881	56	795	1,269	300	47	414
	100.0	1.9	27.6	44.0	10.4	1.6	14.5

図 4（１） 市の行政施策に係る「現状の満足度」

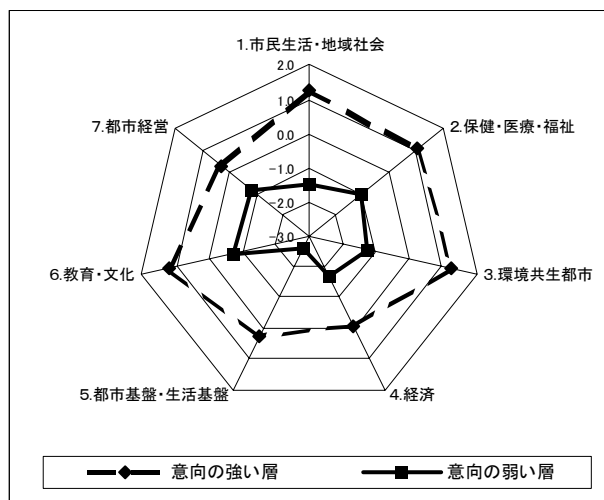


(N=2,881)

☐ 満足している
 ☐ やや満足している
 ☐ どちらとも言えない
 ☐ やや不満である
 ☐ 不満である
 ☐ 無回答

次に問１２（１）市の行政施策に係る「現状の満足度」について７つのカテゴリに分け、７つのカテゴリ別に問８の居住継続意向をグループ化して比較する。全体として居住継続意向が強い層は全ての項目に対し居住継続意向が弱い層よりも高い満足度評価をしている。特に「都市基盤・生活基盤」と「市民生活・地域社会」「環境共生都市」のカテゴリについては意向の強い層と弱い層との間で現状満足度評価の得点に大きな差が見られた。

図４（１）－１ 居住継続意向別 満足度評価（カテゴリ別）



注：まず、居住継続意向が「ずっと住んでいたい」「しばらくは住むつもりだ」の回答を意向の強い意見、「市内の他の地域に移りたい」「市外に移りたい」を意向の弱い意見とした。続いて問１２（１）現状の満足度についての１から２６までの２６項目を、その内容により「市民生活・地域社会」「保健・医療・福祉」「環境共生都市」「経済」「都市基盤・生活基盤」「教育・文化」「都市経営」の７カテゴリに分類し、カテゴリ別の平均点を算出した。問８の「ずっと住んでいたい」「しばらくは住むつもりだ」「市内の他の地域に移りたい」「市外に移りたい」の回答に、それぞれ２点、１点、１点、２点の得点を与え、各カテゴリの平均点にかけて算出した。なお、問１２（１）の各項目の満足度平均得点は『満足している』～『不満である』の回答数に、それぞれ、１０点・５点・０点・－５点・－１０点の得点を与え、合計得点を求め、有回答（『満足している』～『不満である』の何れかに回答があるもの）件数を母数として割り算を行っている。以降のチャートグラフの算出方法はこれに従った。

続いて問８の居住継続意向と、問１２（１）市の行政施策に係る「現状の満足度」とを合わせたものについて、各カテゴリについて項目ごとにみたものが次ページの図４（１）－２である。

各カテゴリ内で特にどの項目に満足しているかという傾向は、居住継続意向の強い層と弱い層とであまり違いは見られない場合が多い。強い層と弱い層で差が大きくなる傾向を示した項目は以下の通りである。

市民生活・地域社会について、他の項目と比較して、意向の強い層と弱い層で異なる傾向を示した（意向の弱い層が相対的に低い評価をした）項目は、「３.安全社会の構築」「２.市民生活の充実」などである。

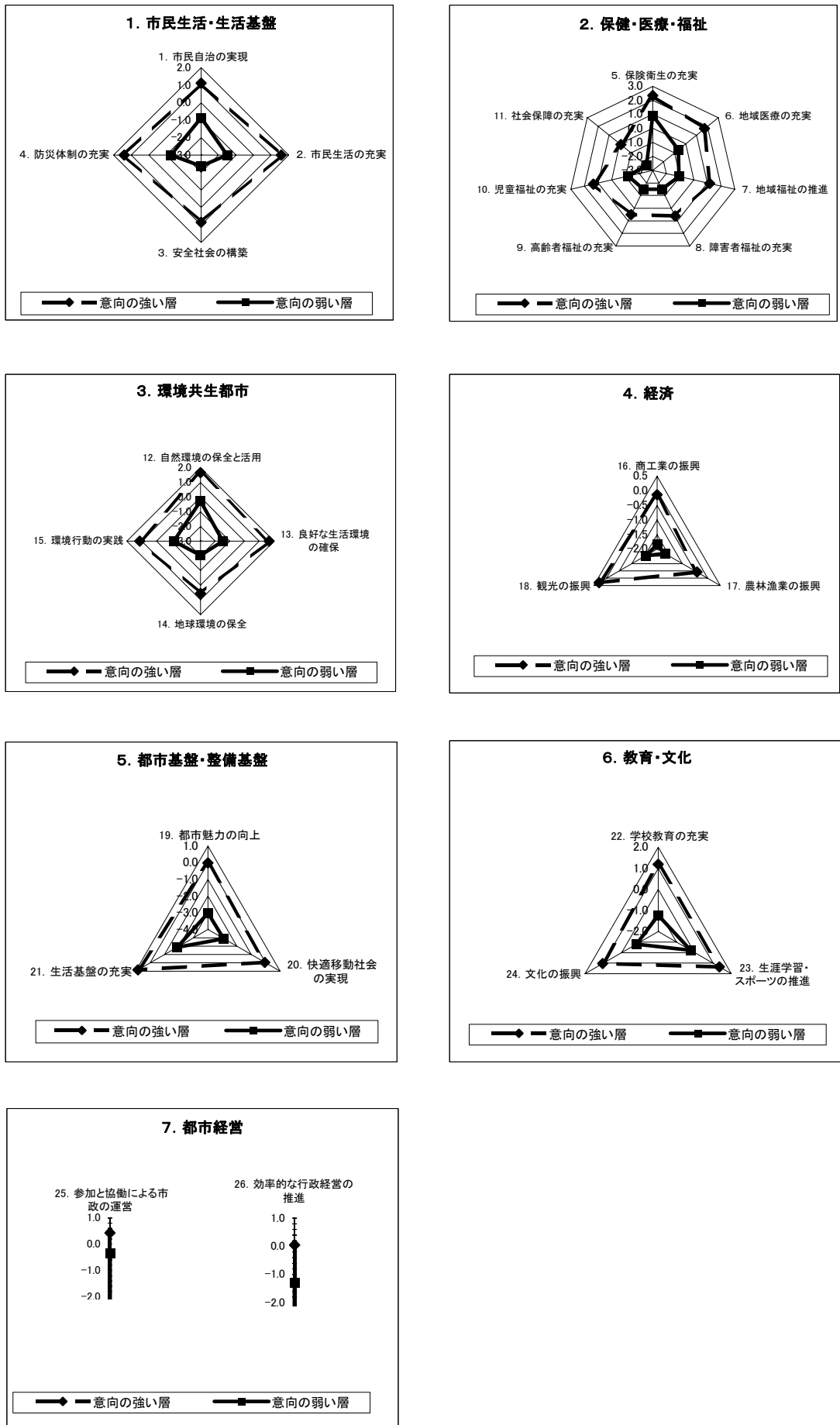
保健・医療・福祉について、他の項目と比較して、意向の弱い層が特に低い評価をした項目は、「１０.児童福祉の充実」などである。

環境共生都市について、他の項目と比較して、意向の弱い層が特に低い評価をした項目は、「１３.良好な生活環境の確保」、経済については、「１８.観光の振興」「１６.商工業の振興」などである。

都市基盤・生活基盤について、他の項目と比較して、意向の弱い層が特に低い評価をした項目は、「１９.都市魅力の向上」である。

教育・文化について、他の項目と比較して、意向の弱い層が特に低い評価をした項目は、「２２.学校教育の充実」、都市経営については、「２６.効率的な行政経営の推進」となっている。

図 4 (1) - 2 居住継続意向別 満足度評価 (項目別)



(参考) 居住継続意向別 満足度評価 (項目別)

カテゴリ 1.市民生活・地域社会	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
1. 市民自治の実現	1.10	-0.86	1.97
2. 市民生活の充実	1.58	-1.52	3.10
3. 安全社会の構築	0.84	-2.37	3.21
4. 防災体制の充実	1.39	-1.28	2.67

カテゴリ 2.保健・医療・福祉	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
5. 保険衛生の充実	2.33	0.92	1.41
6. 地域医療の充実	1.74	-0.65	2.39
7. 地域福祉の推進	1.15	-1.09	2.23
8. 障害者福祉の充実	0.61	-1.52	2.13
9. 高齢者福祉の充実	0.49	-1.52	2.01
10. 児童福祉の充実	1.34	-1.21	2.55
11. 社会保障の充実	-0.07	-2.42	2.35

カテゴリ 3.環境共生都市	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
12. 自然環境の保全と活用	1.67	-0.28	1.94
13. 良好な生活環境の確保	1.66	-1.48	3.14
14. 地球環境の保全	0.56	-2.04	2.60
15. 環境行動の実践	1.12	-1.18	2.30

カテゴリ 4.経済	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
16. 商工業の振興	-0.13	-1.84	1.71
17. 農林漁業の振興	-0.42	-1.70	1.28
18. 観光の振興	0.30	-1.56	1.86

カテゴリ 5.都市基盤・生活基盤	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
19. 都市魅力の向上	-0.02	-3.02	3.00
20. 快適移動社会の実現	-0.07	-2.90	2.83
21. 生活基盤の充実	0.84	-1.88	2.72

カテゴリ 6.教育・文化	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
22. 学校教育の充実	1.18	-1.22	2.41
23. 生涯学習・スポーツの推進	1.34	-0.22	1.56
24. 文化の振興	1.04	-0.81	1.85

カテゴリ 7.都市経営	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
25. 参加と協働による市政の運営	0.43	-0.36	0.79
26. 効率的な行政経営の推進	0.05	-1.28	1.33

問 1 2 (2) 市の行政施策に係る「今後の重要度」

市の行政施策に関わる重要度については、「4 防災体制の充実」(77.5%)、「3 安全社会の構築」(77.3%)、「6 地域医療の充実」(77.3%)の項目で、「重要である」「やや重要である」の回答割合が高く、市民が重要性を感じている。

問 1 2

あなたは市の行政施策について、どのようにお考えですか。以下のそれぞれの取り組みに係る「現状の満足度」と「今後の重要度」について、あなたのお考えにもっとも近いものをそれぞれ1つ選び、その番号を○で囲んでください。

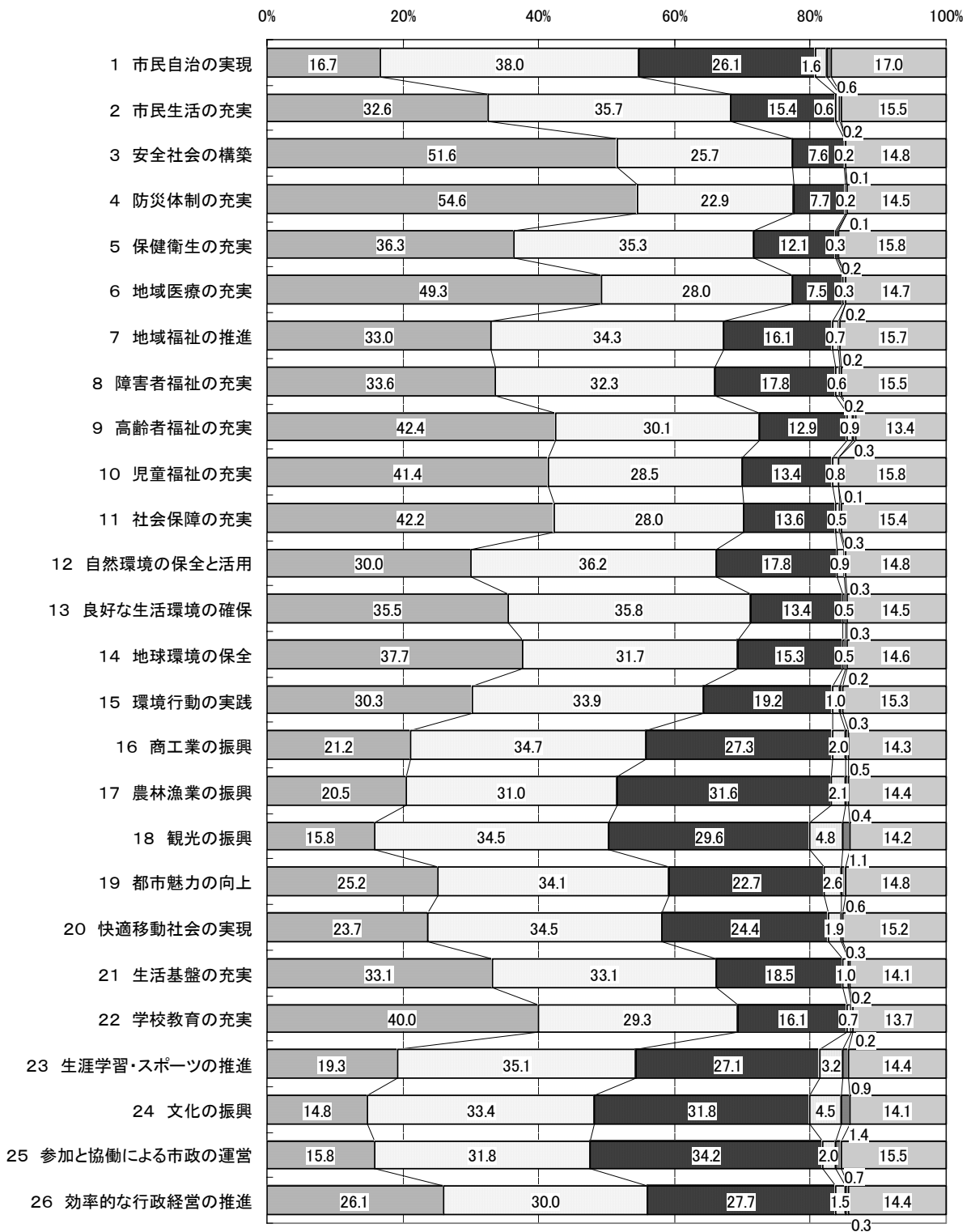
表 4 (2) 市の行政施策に係る「今後の重要度」

(単位：人、%)

問 1 2 (2) 市の行政施策に係る「今後の重要度」	全 体	重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない	無回答
1 市民自治の実現	2,881	482	1,095	753	47	18	486
	100.0	16.7	38.0	26.1	1.6	0.6	17.0
2 市民生活の充実	2,881	940	1,028	444	18	7	444
	100.0	32.6	35.7	15.4	0.6	0.2	15.5
3 安全社会の構築	2,881	1,488	739	220	5	4	425
	100.0	51.6	25.7	7.6	0.2	0.1	14.8
4 防災体制の充実	2,881	1,574	660	222	7	4	414
	100.0	54.6	22.9	7.7	0.2	0.1	14.5
5 保健衛生の充実	2,881	1,046	1,018	350	9	5	453
	100.0	36.3	35.3	12.1	0.3	0.2	15.8
6 地域医療の充実	2,881	1,421	807	217	9	5	422
	100.0	49.3	28.0	7.5	0.3	0.2	14.7
7 地域福祉の推進	2,881	952	987	463	19	5	455
	100.0	33.0	34.3	16.1	0.7	0.2	15.7
8 障害者福祉の充実	2,881	967	930	513	18	5	448
	100.0	33.6	32.3	17.8	0.6	0.2	15.5
9 高齢者福祉の充実	2,881	1,221	866	371	27	8	388
	100.0	42.4	30.1	12.9	0.9	0.3	13.4
10 児童福祉の充実	2,881	1,193	820	385	24	2	457
	100.0	41.4	28.5	13.4	0.8	0.1	15.8
11 社会保障の充実	2,881	1,217	806	392	15	9	442
	100.0	42.2	28.0	13.6	0.5	0.3	15.4
12 自然環境の保全と活用	2,881	865	1,043	513	25	8	427
	100.0	30.0	36.2	17.8	0.9	0.3	14.8

問 12（２） 市の行政施策に係る「今後の重要度」	全 体	重要で ある	やや重 要であ る	どちら とも言 えない	あまり 重要で ない	重要 でない	無回答
1 3 良好な生活環境の確保	2,881	1,023	1,032	387	14	8	417
	100.0	35.5	35.8	13.4	0.5	0.3	14.5
1 4 地球環境の保全	2,881	1,087	912	442	14	5	421
	100.0	37.7	31.7	15.3	0.5	0.2	14.6
1 5 環境行動の実践	2,881	872	977	553	29	8	442
	100.0	30.3	33.9	19.2	1.0	0.3	15.3
1 6 商工業の振興	2,881	611	999	786	59	13	413
	100.0	21.2	34.7	27.3	2.0	0.5	14.3
1 7 農林漁業の振興	2,881	592	893	909	60	11	416
	100.0	20.5	31.0	31.6	2.1	0.4	14.4
1 8 観光の振興	2,881	456	995	852	138	33	407
	100.0	15.8	34.5	29.6	4.8	1.1	14.2
1 9 都市魅力の向上	2,881	725	983	654	76	16	427
	100.0	25.2	34.1	22.7	2.6	0.6	14.8
2 0 快適移動社会の実現	2,881	683	993	702	56	10	437
	100.0	23.7	34.5	24.4	1.9	0.3	15.2
2 1 生活基盤の充実	2,881	953	955	532	29	6	406
	100.0	33.1	33.1	18.5	1.0	0.2	14.1
2 2 学校教育の充実	2,881	1,153	843	465	20	6	394
	100.0	40.0	29.3	16.1	0.7	0.2	13.7
2 3 生涯学習・スポーツの推進	2,881	557	1,010	781	91	25	417
	100.0	19.3	35.1	27.1	3.2	0.9	14.4
2 4 文化の振興	2,881	426	961	917	129	41	407
	100.0	14.8	33.4	31.8	4.5	1.4	14.1
2 5 参加と協働による市政の運営	2,881	456	915	986	59	20	445
	100.0	15.8	31.8	34.2	2.0	0.7	15.5
2 6 効率的な行政経営の推進	2,881	751	864	799	43	9	415
	100.0	26.1	30.0	27.7	1.5	0.3	14.4

図4（2） 市の行政施策に係る「今後の重要度」



(N=2,881)

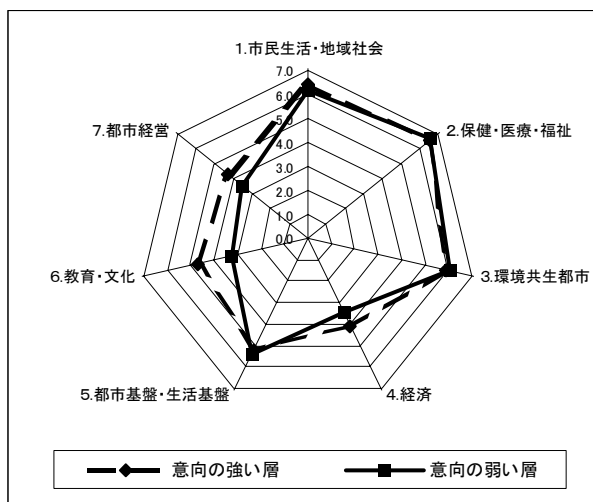
☐ 重要である
 ☐ やや重要である
 ☐ どちらとも言えない
 ☐ あまり重要でない
 ☐ 重要でない
 ☐ 無回答

次に、問12(2)市の行政施策に係る「今後の重要度」について7つのカテゴリに分け、7つのカテゴリ別に問8の居住継続意向をグループ化して比較する。

全体として、施策の中で特に何を重視するかについて、その重視する項目および重視度合いは、居住継続意向の強い層と弱い層でほとんど差はみられない。前掲の満足度評価では居住継続意向の強い層と弱い層の得点差は大きく、全ての項目において意向の強い層の方が、得点が高かったのに対し、重要度については意向の強い層と弱い層とで得点にあまり差異がないことが読み取れる。

差が見られるのは居住意向の強い層が弱い層より重要度が高いと考えている場合であり、「教育・文化」「都市経営」「経済」となっている。

図4(2)-1 居住継続意向別 重要度評価(カテゴリ別)



各カテゴリ内の項目についての傾向は以下の通りである。

市民生活・地域社会については、居住継続意向の強い層も弱い層もほぼ同じ意見を有している。そのなかで若干ではあるが違いが見られるのは、「3.安全社会の構築」と「4.防災体制の充実」である。

保健・医療・福祉については、居住継続意向の弱い層の方が、重要度を高く評価している場合が多い。

同様に、環境共生都市においても、「13.良好な生活環境の確保」以外の全ての項目について、意向の弱い層の重要度は意向の強い層よりも高くなっている。

経済については、項目間での居住継続意向の強弱による差異は、ほとんどみられない。

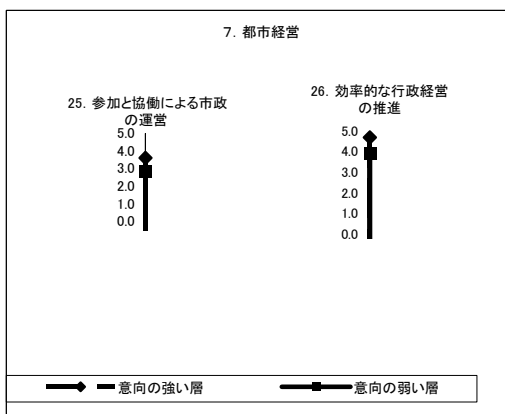
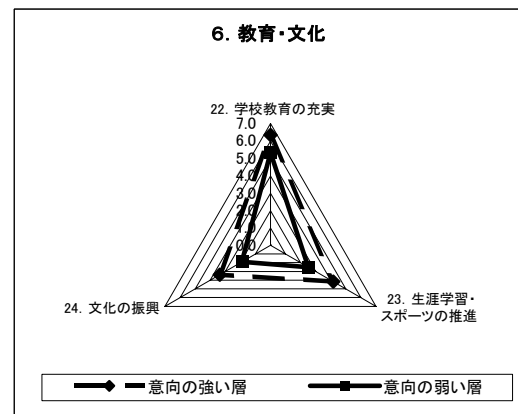
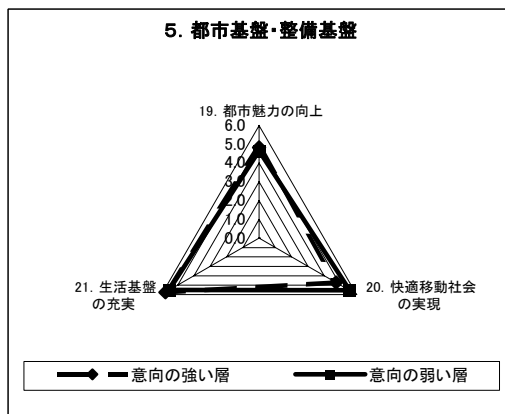
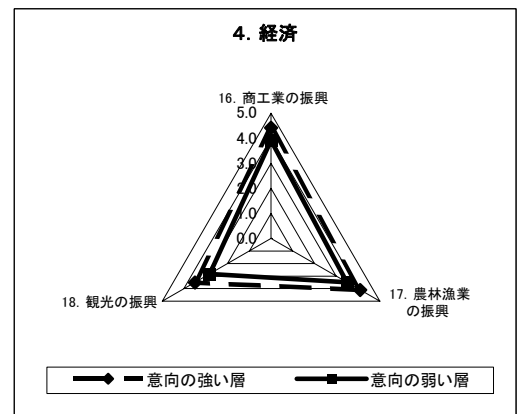
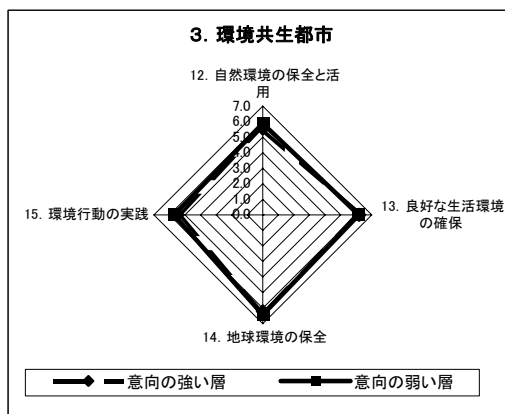
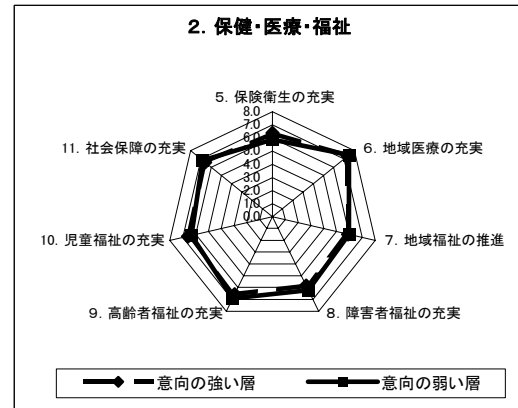
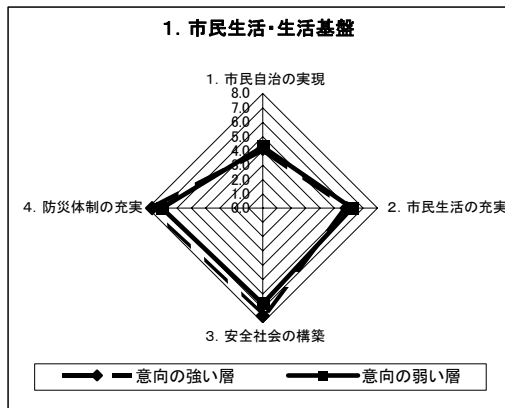
都市基盤・生活基盤については、「20.快適移動生活の実現」において、意向の強い層の方がより重要視している。

教育・文化は、「23.生涯学習・スポーツの推進」における双方の差がもっとも大きくなっており、どの項目よりも差が大きくなっている。

最後に都市経営については、項目間での居住継続意向の強弱による差異は、ほとんどみられない。

以上より、保健・医療・福祉や環境共生都市等のカテゴリの一部の項目については、居住継続意向の弱い層の方が重要度を高く評価しているものの、経済や教育・文化等のカテゴリにおいては、居住継続意向の強い層の方が全般的に重要度を高く評価している。保健・医療・福祉では7つの項目のうち5つで居住継続意向の弱い層のほうが高い。

図 4 (2) -2 居住継続意向別 重要度評価 (項目別)



(参考) 居住継続意向別 重要度評価 (項目別)

カテゴリ 1.市民生活・地域社会	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
1. 市民自治の実現	4.14	4.28	0.14
2. 市民生活の充実	5.85	6.22	0.37
3. 安全社会の構築	7.52	6.68	0.84
4. 防災体制の充実	7.72	7.04	0.68

カテゴリ 2.保健・医療・福祉	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
5. 保険衛生の充実	6.39	5.88	0.50
6. 地域医療の充実	7.36	7.47	0.10
7. 地域福祉の推進	5.91	5.96	0.06
8. 障害者福祉の充実	5.84	6.21	0.38
9. 高齢者福祉の充実	6.56	6.91	0.35
10. 児童福祉の充実	6.59	6.31	0.28
11. 社会保障の充実	6.59	6.84	0.25

カテゴリ 3.環境共生都市	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
12. 自然環境の保全と活用	5.55	5.86	0.31
13. 良好な生活環境の確保	6.18	6.16	0.02
14. 地球環境の保全	6.21	6.43	0.22
15. 環境行動の実践	5.48	5.71	0.23

カテゴリ 4.経済	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
16. 商工業の振興	4.42	3.90	0.52
17. 農林漁業の振興	4.10	3.49	0.61
18. 観光の振興	3.51	2.83	0.68

カテゴリ 5.都市基盤・生活基盤	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
19. 都市魅力の向上	4.82	4.64	0.17
20. 快適移動社会の実現	4.71	5.54	0.83
21. 生活基盤の充実	5.74	5.51	0.23

カテゴリ 6.教育・文化	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
22. 学校教育の充実	6.34	5.33	1.01
23. 生涯学習・スポーツの推進	4.17	2.49	1.68
24. 文化の振興	3.35	1.88	1.47

カテゴリ 7.都市経営	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
25. 参加と協働による市政の運営	3.62	2.89	0.72
26. 効率的な行政経営の推進	4.71	3.96	0.75

居住継続意向と満足度および重要度との関係について

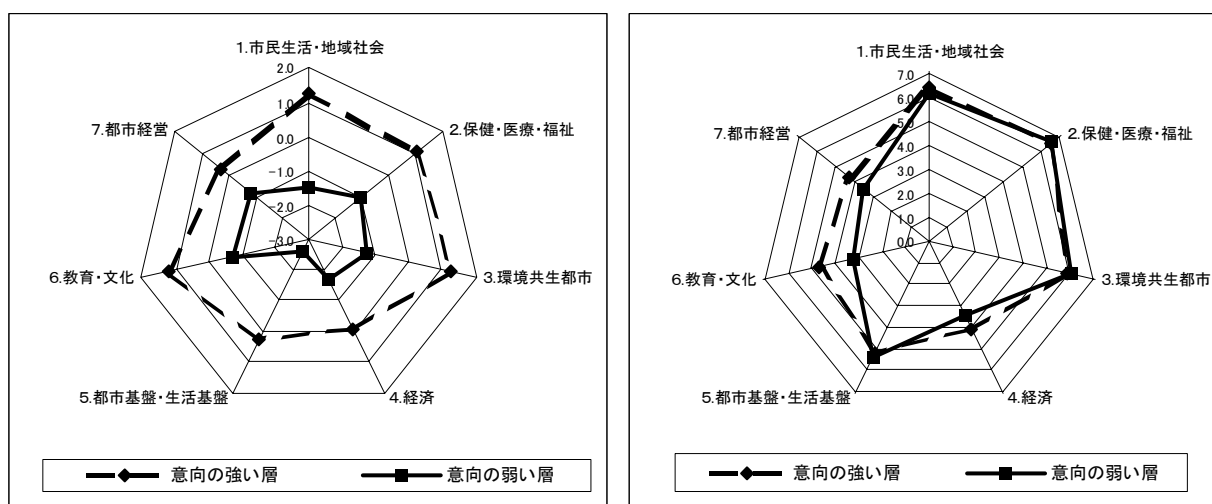
下図は前掲の図を再掲したものである。これらの図より、居住継続意向について、意向の強い層は市の行政施策に対する満足度が相対的に高く、意向の弱い層は満足度も相対的に低いことがわかる。一方で、重要度については、居住継続意向による違いがあまり見られず、差が見られるのは居住継続意向の強い層が弱い層より重要度が高いと考えているものとなっている。

居住継続意向の強い層で満足度の高いカテゴリのうち、教育・文化では重要度が相対的に低くなっており、この傾向は弱い層でも同様である。

居住継続意向の強い層で満足度の高いカテゴリのうち、市民生活・地域社会、保健・医療・福祉、環境共生都市では、重要度も高くなっている。現状に満足していてもなお、今後の重要度が高い。

意向の弱い層では都市基盤・生活基盤の満足度が他のカテゴリと比して低くなっているが、重要度の評価は他のカテゴリと大差ない。

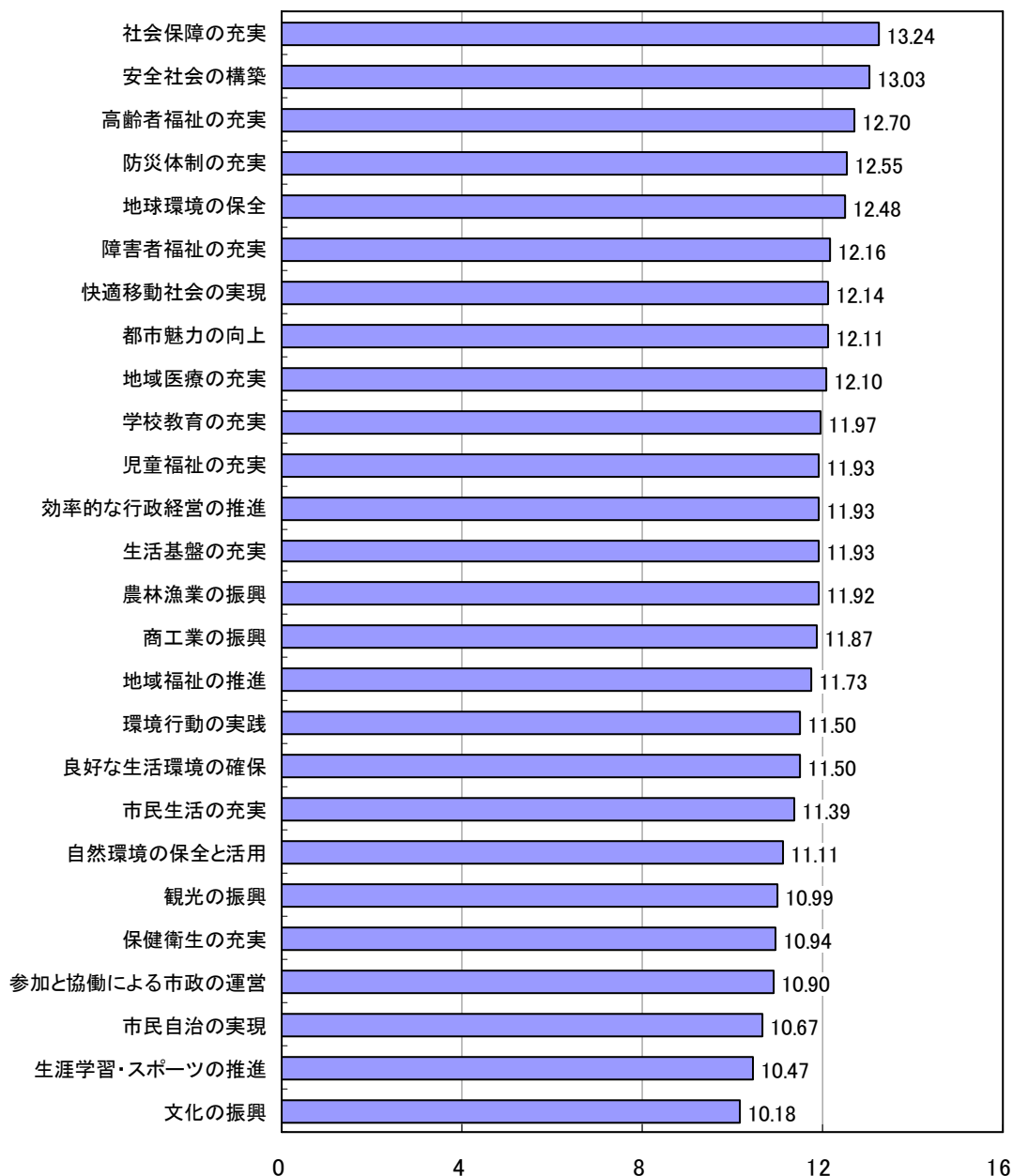
図 4-2 居住継続意向別 満足度（左）と重要度（右）（それぞれ再掲）



ニーズ得点について

満足度と重要度から総合的に市民のニーズを測る「ニーズ得点」をみる。今回、ニーズ得点の高い項目としては、「社会保障の充実」(13.24)、「安全社会の構築」(13.03)、「高齢者福祉の充実」(12.70)、「防災体制の充実」(12.55)、「地球環境の保全」(12.48)が挙げられる。これら上位の項目については、市民のニーズが高く、優先的に取り組むべき課題として認識する必要があるといえる。

図 4-3 ニーズ得点



(参考) ニーズ得点

ニーズ得点は、下式により算出される回答者ごとの得点の全体平均であり、ニーズ得点が高い項目は、その行政施策・サービス等に対する住民のニーズが高いものととらえることができる。式中の「満足度得点」、「重要度得点」は問 1 2 の回答内容によって決まり、下表のように設定した。

$$\text{ニーズ得点} = \text{重要度得点} \times (6 - \text{満足度得点})$$

注) 満足度及び重要度に、次のように 5 段階のポイントをつける。

満足度	重要度	ポイント
満足	重要	5
やや満足	やや重要	4
どちらとも言えない	どちらとも言えない	3
やや不満	あまり重要でない	2
不満	重要でない	1

ここで (6 - 満足度得点) は不満度を意味し、また、ニーズ得点の範囲は 1~25 点となる。ニーズ得点は、重要度が高くなるほど、また満足度が低くなるほど (不満度が高くなるほど) 高くなる。

内閣府国民生活局「国民生活選好度調査」より

E 自由回答

岡崎市の行政施策について、ご意見・ご提案をうかがったところ、あらゆる分野について 1,015 件の意見が寄せられた。

<地域で支えあい安全に暮らせるまちづくり>

(市民自治・地域社会)

- ・ 行政だけではできないことも多いことから、地域力を生み出す方策が必要です。気軽に集まれる場所、相談窓口、きっかけ作りが必要です。
- ・ 縦割行政の典型である岡崎市は横のつながりを持たず、事あるごとに話がつながらずへきえきしています。市民協働と言っていますが、実際には協働とは程遠いと思っています。
- ・ 国際交流が重要と感じるが、外国人のマナーが悪く、安心して生活ができない為、行政でもっと明確に施策を打ち出してほしい。
- ・ 常磐学区が中央地域に属することを初めて知りましたが、この辺りと康生が同じ地域になることに違和感があります。ただし、この地域分けにどのような意味があるのか、地域分けされていることで他の地域の方とどのような違いがあるのかも知らないなので、教えていただきたい
- ・ 子どもが学校を卒業してしまうと町内との関わりも少なく、市との関わり、行事など子ども・老人のものばかりで、私のように昼間パートなどで働いているものに参加できるものがないように思います。
- ・ 過去には地域のことを考える青年集団があり、行政（教育委員会）がそれを支えていた。その中から市議会へ若年で進出する者がいた。現在市政に対して人材不足を呈している。これを打破するために地域を柱に据えて青年集団の育成を望む。

(防犯、防災)

- ・ 安心して暮らすことができるように、防犯に力を入れてほしいと思います。
- ・ 矢作町に 25 年住んでいるが、大雨で鹿乗川から水があふれ、床下まで水がつかる。
- ・ 洪水災害が気になります。市民ボランティアを募集して木を切ったり砂を除去したりなど、整備することは出来ませんか。

<健やかに安心して暮らせるまちづくり>

(社会福祉の充実)

- ・ 働く母親として、夜間も預かってもらえる保育所の充実をしてほしい。さらに言えば、父親は子育てをしたくてもできない現実があり、残業を減らすなど、父親が育児参加できれば、育児は変わると思う。
- ・ 保育所は、正規採用職員数が少なく、臨時、嘱託の人が多いと聞きます。責任をきちんともち、会議や教材研究、研修などもしっかりやってもらわないと、保育士としては不十分だと思います。
- ・ 多数あるデイサービスの中から、内容を吟味するのは大変なことなので、ホームページには、サービス内容や利用者数等の特徴も書いていただけるとありがたいです。
- ・ スタッフの中にはお年寄りを「おじいちゃん・おばあちゃん」扱いする人がいますが、長年生きてきた人生の先輩として接していただくよう、行政からも指導があると良いと思います。
- ・ テレビデジタル化になる時期、所得に応じて、すべての市民に何らかの補助を考えて頂きたいです。低所得には、とても厳しい生活ですので。

(保健医療の充実)

- ・ 大きな街と言える岡崎市に総合病院が1つしかないのはおかしいのではないのでしょうか。
- ・ 福祉サービスの岡崎げんき館のような施設が、南の方にもほしい。病院も北の方に集中していると思う。
- ・ 耳鼻科は待ち時間が1時間以上の所もあります。
- ・ 15才以下の子どもの医療費を無料にしてくださり、ありがたく感じている反面、一律無料にする必要があるのか疑問です。無料にしても健保はお金を払うわけですから、医療費の削減にはつながらない気がします。
- ・ 医療費補助を中学生まで引き上げる必要性などないと思います。
- ・ 妊娠がわかってから受診時何度も断られ、違う病院を受診し無駄な金を払いました。
- ・ 妊婦健康診査受信票が7枚支給されるようになり、本当にありがたいと思う。
- ・ 女性を対象とした検診が2年に1度しかないというのはどうでしょうか？ガンは1年でもかなり進行してしまうものと話を聞きます。

<自然と調和した環境にやさしいまちづくり>

(環境共生都市)

- ・ 自然環境の共生といっても森の駅は立派だけど利用価値があるのか。
- ・ レジ袋も有料化したらゴミも少なくなりませんか。
- ・ 市内の自動車メーカーでは、電気自動車を発売に向けて、実用化までの商品力を付けている。他県は電気自動車購入者に対し、減税や駐車場（充電場所）の充実を進めている。岡崎市でも力を入れてほしい。

<賑わいと活力あるまちづくり>

(雇用就労)

- ・ 職安での高齢者窓口（専用）を新設し、高齢者に優しい仕事の提供を積極的に取組む必要があると考える。

<快適で魅力のあるまちづくり>

(基盤整備)

- ・ 下水道の整備が遅れている。岡崎の中心部は早いですが、中心部でないと何の時でも最後です。
- ・ 公衆トイレが無くなっている。
- ・ 市街地の整備が集中しすぎ、市境とくに農村部に対して目が向けられていない。特に河川について、中川を取り除き、治水等掛け声のみで手付かずではないか。
- ・ 北岡崎駅より東に行くと、高校が2校あり、かなり自転車通学が多いのですが、歩道が狭い。
- ・ 高齢者団体により、つまづき、歩きにくいなどの理由で石の遊歩道がアスファルトになりました。しかし、そこを原付が通るようになり、安全ではなくなりました。また、景観も素っ気なく、照り返しで熱い道になりました。
- ・ 市内に魅力的な公園がありません。家族が朝出かけて、夕方までゆったり過ごせるような施設が思い当たらないです。かと言って、近所に毎日遊べる公園も少なく、子どもたちは学校が終わると行き場がありません。
- ・ 昔は緑が多くあり、住みやすい町でした。昨今は人口増加に伴い、山という山は住宅で密集し息が詰

まるような町に化しています。

- ・ 南公園の昼休みが 12 時から 1 時までの休憩時間かどうかと思います。市民は昼休みに公園へ行くのに公園が休みとは、民間企業では考えられません。

(交通体系の整備)

- ・ 年寄りのための交通網の充実など、買物にも行けない岡崎では長く住むことが出来ない。
- ・ 歩道の整備をお願いします。植栽されている根が歩道の表面に隆起していて、自転車・電動車イスの人が大変困っています。
- ・ 岡崎市はとても住み良い町だと思いますが、歩行者に対する思いやりがないのではと思います。
- ・ 市が運営しているのに、交通の手段が車しかない所が多すぎます。
- ・ コミュニティバスは非常に便利であり、長く継続して頂き、路線の拡大、既存の路線バス、電車との連携を強く望みます。
- ・ 他市では、民間バスが廃止した路線を引き継いで、周辺部と中心部と結ぶ路線バスを運行しています。岡崎市でもできないのでしょうか。

(中心市街地の活性化)

- ・ 市中心部がシャッター街となり、夜間は死の町に等しい、淋しい限りである。
- ・ 電車の駅周辺に活気が全くなく、岡崎は名古屋に通勤する為のベッドタウンにすぎないような印象を受けます。
- ・ 東岡崎駅近くに住んでいますが、スーパー撤退後、買い物に非常に不便を感じています。駅近くの整備がされるそうですが、そういった事も少し考えていただきたい。
- ・ 東岡崎の周辺の計画が発表されたが、将来的に少しもの足りない。
- ・ 岡崎城の近くに、大きなマンションが増え、花火が良く見えなくなり、お城も目立たなくなりました。どういう町を作りたいのでしょうか。
- ・ 康生地区の再整備と連携し、また環境対策のひとつでもあるが、市電の整備は検討してはどうか。
- ・ 岡崎を発展させるには康生と羽根、岡崎駅周辺に無料の大きな駐車場を作ること。これには反対もあると思うが、実現できなければ岡崎は発展しない。
- ・ 康生地区（シビコのあたり）の車の乗り入れを禁止し、ドイツのカールスルーエの様な公共交通だけの町にしたらどうでしょう。住民も住みやすいし、人々がたくさんあつまり、新しいお店もできるでしょう。

<未来を拓く人を育むまちづくり>

(教育、文化芸術・生涯学習の充実)

- ・ 岡崎市にはブラジル人がかなり住んでいるようですが、これから求められるのは、定住をめざすブラジル人家族、とりわけ子供達が学校で日本人の子供達同様に学び、成長していける様に、日本語教育を手厚くしつつ、母語を忘れないような配慮ある教育支援が大事ではないかと感じています。
- ・ 生涯学習講座をもっと増加して参加しやすく、地域社会の人々にふれあう機会を増やしてほしいと思います。新しい施設を増加しすぎ、無駄な投資をしていると思います。
- ・ 岡崎とジャズ・・・一部のみに市が便乗したか利用されたかの感があり、一般的でなく会話にのぼったことありません。
- ・ 過疎化している学区は、していない学区に比べると、学力的にも考えさせられるところがあるため、学区制廃止を強く希望します。
- ・ 現在の学校教育で詳しい事は知らないが、1つは道徳教育に力が入っていないのが、少年犯罪を始め

とした自己中心的犯罪が増加しているのではないか。

- ・ 子どもが十分な自発的勉学ができる環境を整備してほしい。
- ・ 若者、ファミリーで気軽に楽しくできるスポーツの種目を考えてほしい。（スポーツに年齢差なく交流できる）

＜将来まで自律した状態が続く都市経営＞

（効率的な行政運営と健全な財政運営の推進）

- ・ 市の健全な財政、政策をお願いしたい。大阪、夕張等々にならないように。そのためには積極的な財政状況の情報公開を行なうように。
- ・ 最近色々な建物を作っている様ですが、建てるだけではなく市民が利用しやすい様にして欲しいです。特定の人達だけが利用しているのでは建てた意味はないし、それこそ税金の無駄使いだと思われれます。

（サービス時間等、職員の対応）

- ・ 役所の窓口は最低でも土曜日は利用できる行政施策を望む。
- ・ 職員の皆さんが大変に親切で、気持ち良く対応して下さい、感謝しております。これからもこの気持ちが続くように頑張ってください。

参考：調査票

平成 20 年度市民意識調査

- あなたの声をお寄せください -

日頃は、市政にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

このたび郵送させていただいた市民意識調査は、岡崎市の市政について市民の皆さんからご意見やご提言をいただき、本市のまちづくりに反映していくことを目的として実施させていただくもので、市内にお住まいの 20 歳以上の方から無作為に選ばせていただいた 5,000 人の方にご協力をお願いしております。

お忙しいところ大変恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご回答いただけますようよろしくお願い申し上げます。

平成 20 年 6 月

岡崎市長 柴 田 紘 一

ご記入にあたって

- ◎ できるだけあて名のご本人が、ご回答くださいますようお願いします。
本人が回答できない場合は、ご家族がお答えいただいても結構です。
- ◎ 回答は、この調査票の 2 ページ以降に、直接、記入してください。
- ◎ ご記入が済みましたら、**6 月 22 日（日）**までに、同封の返信用封筒に入れて、切手をはらずに、ご投函ください。
- ◎ アンケートの結果は、統計的に処理しますので、回答していただいた方にご迷惑をおかけすることはありません。

問い合わせ先

岡崎市役所 企画課企画班 電話 (0564) 23-6812

A あなた自身のことについておたずねします

問1 あなたの性別をお答えください(番号を○で囲んでください)。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 あなたの年齢をお答えください(番号を○で囲んでください)。

- | | |
|---------|----------|
| 1. 20歳代 | 2. 30歳代 |
| 3. 40歳代 | 4. 50歳代 |
| 5. 60歳代 | 6. 70歳以上 |

問3 あなたの職業をお答えください(番号を○で囲んでください)。

- | | |
|------------------------------|------------|
| 1. 勤め人(常勤) | 2. 学生 |
| 3. 自営業・家業(農林業、商業、工業、サービス業など) | |
| 4. パート・アルバイト | 5. 専業主婦(夫) |
| 6. 無職 | 7. その他() |

問4 あなたが、市内(旧額田町含む)にお住まいになっている年数(市外へ転出され戻られた方は通算の年数)をお答えください(番号を○で囲んでください)。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 5年未満 | 2. 5年以上10年未満 |
| 3. 10年以上20年未満 | 4. 20年以上30年未満 |
| 5. 30年以上 | |

問5 一緒に住んでいるあなたの家族構成は、次のうちどれに当てはまりますか(当てはまるもの全ての番号を○で囲んでください)。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 3歳以下の同居家族がいる | 2. 4～18歳の同居家族がいる |
| 3. 19～64歳の同居家族がいる | 4. 65歳以上の同居家族がいる |
| 5. 夫婦のみである | 6. 同居家族はいない(単身である) |

問6 あなたはどちらにお住まいですか。お住まいの地域(支所区域)をお答えください(番号を○で囲んでください)。別添資料の表紙に掲載している地図を参考にしてください。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 中央地域 | 2. 岡崎地域 |
| 3. 大平地域 | 4. 東部地域 |
| 5. 岩津地域 | 6. 矢作地域 |
| 7. 六ツ美地域 | 8. 額田地域 |

↓

※お住まいの地域名が分からない場合は、町名をご記入ください。() 町)

B 岡崎のまちについておたずねします

問7 あなたは、岡崎市を住みよいまちだと思いますか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

1. 住みよい 2. まあ住みよい	3. やや住みにくい 4. 住みにくい
----------------------	------------------------

↓
問7-1にお進みください

↓
問7-2にお進みください

問7-1 それはどういった理由からですか。
次の中から主なものを最大3つまで選び、その番号を○で囲んでください。

1. 交通の便がよい
2. 買い物が便利である
3. 公害が少ない
4. 下水道などの基盤整備がよい
5. 災害の危険性が少ない
6. 犯罪が少なく風紀がよい
7. 緑や自然環境が豊かである
8. 近所づきあいなどの人間関係がよい
9. 教育など子どもを育てる環境がよい
10. 医療や福祉環境が充実している
11. 文化やスポーツの機会に恵まれている
12. まちに魅力や活気がある
13. その他()

問7-2 それはどういった理由からですか。
次の中から主なものを最大3つまで選び、その番号を○で囲んでください。

1. 交通の便が悪い
2. 買い物が不便である
3. 公害により環境が悪い
4. 下水道などの基盤整備が遅れている
5. 災害に対する不安が大きい
6. 犯罪に対する不安が大きい
7. 緑や自然環境が少ない
8. 近所づきあいなどの人間関係がよくない
9. 教育など子どもを育てる環境がよくない
10. 医療や福祉環境が不足している
11. 文化やスポーツにふれる機会が少ない
12. まちに魅力や活気がない
13. その他()

問8 あなたは今後も岡崎のまちに住み続けたいと思いますか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. ずっと住んでいたい | 2. しばらくは住むつもりだ |
| 3. 市内の他の地域に移りたい | 4. 市外に移りたい |
| 5. わからない | |

問9 あなたは岡崎市の市政に関心をお持ちですか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

1. 非常に関心がある 2. ある程度関心がある ↓ 問9-1にお進みください	3. あまり関心がない 4. まったく関心がない ↓ 問9-2にお進みください
---	---

問9-1 それはこういった理由からですか。次の中から主なものを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

- | |
|----------------------|
| 1. 自分の暮らし向きに直接関係がある |
| 2. 市政が身近なものになってきた |
| 3. 市政に興味がある |
| 4. 自分の住む岡崎市をもっとよくしたい |
| 5. その他() |

問9-2 市政に関心を持ってもらうには、どのようにしたらよいと思いますか。次の中から主なものを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

- | |
|----------------------------------|
| 1. 市政だよりやホームページなどで、市政について詳しく説明する |
| 2. 市政について勉強会や講習を行う |
| 3. 岡崎市をもっと魅力的なまちにする |
| 4. いろいろなメディアを使って市政をPRする |
| 5. 市政に対する市民参加の機会を増やす |
| 6. その他() |
| 7. わからない |

C 市民参加のまちづくりについておたずねします

問10-1 地域をより良くしていくための「市民参加によるまちづくりの取り組み」について、過去1年の間で参加したことがありますか。それぞれの項目について、1度でもあれば「有」に、無ければ「無」に、○をつけてください。

設問項目	参加の有無
1. 高齢者や障害者の手助けや交流などの福祉活動	有 ・ 無
2. 外国人との交流・支援などの活動	有 ・ 無
3. 子育てサークルやPTA活動	有 ・ 無
4. まちづくりのルールをつくり、良好なまちづくりを進めていくような活動	有 ・ 無
5. 交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動	有 ・ 無
6. 資源回収やごみの分別・リサイクル活動	有 ・ 無
7. 環境保全や清掃活動など、地域の環境を守る活動	有 ・ 無
8. その他 (具体的に)	有 ・ 無

問10-2

また、今後、どのような市民活動に参加したいとお考えですか。上記1～7の番号の中から、あなたのお考えに最も近いものを最大3つまで選び、その番号を記入してください。

今後参加したい取り組み
(番号を最大3つまで記入)

→

問11 「市民参加によるまちづくり」を活性化していくために、今後、どのような「行政の支援」が重要だとお考えですか。次の中から、あなたのお考えに最も近いものを最大3つまで選び、その番号を○で囲んでください。

1. 市の広報紙やホームページによる、まちづくりに関する情報提供の充実
2. まちづくりのアドバイスをを行う相談窓口等の庁内体制の充実
3. まちづくりの専門家やアドバイザーによる支援の充実
4. まちづくりに関する学習機会の充実(生涯学習講座など)
5. まちづくりへの関心や機運を高めるための交流イベント等の充実
6. ボランティアやNPO(民間非営利活動団体)等のまちづくり活動の支援の充実
7. 優良なまちづくり活動を奨励・表彰・支援する仕組みの充実
8. その他(具体的に)

D 市の取り組みに対する満足度・重要度についておたずねします

問12 あなたは市の行政施策について、どのようにお考えですか。以下のそれぞれの取り組みに係る「現状の満足度」と「今後の重要度」について、あなたのお考えに最も近いものをそれぞれ**1つずつ**選び、その番号を○で囲んでください。

なお、各施策についてこれまで行ってきた取組を別添の参考資料に紹介していますので、そちらを参考にご回答ください。

満足度・重要度 それぞれ1つを選択 設 問 項 目		現状の満足度					今後の重要度				
		満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない
	(例)〇〇の整備	1	②	3	4	5	1	②	3	4	5
地域社会	1. 市民自治の実現	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2. 市民生活の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3. 安全社会の構築	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4. 防災体制の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
保健・医療・福祉	5. 保健衛生の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	6. 地域医療の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	7. 地域福祉の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	8. 障害者福祉の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	9. 高齢者福祉の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	10. 児童福祉の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	11. 社会保障の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
環境共生都市	12. 自然環境の保全と活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	13. 良好な生活環境の確保	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	14. 地球環境の保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	15. 環境行動の実践	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

設 問 項 目		現状の満足度					今後の重要度				
		満足度・重要度 それぞれ1つを選択									
		満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない
★ 経済	16. 商工業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	17. 農林漁業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	18. 観光の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
♣ 生活基盤・都市基盤	19. 都市魅力の向上	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	20. 快適移動社会の実現	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	21. 生活基盤の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
✚ 教育・文化	22. 学校教育の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	23. 生涯学習・スポーツの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	24. 文化の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
♠ 経営都市	25. 参加と協働による市政の運営	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	26. 効率的な行政経営の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
27. 市の取り組み全般の総合評価 (上記1から26全体の評価)		1	2	3	4	5					

E あなたの自由なご意見をお聞かせください

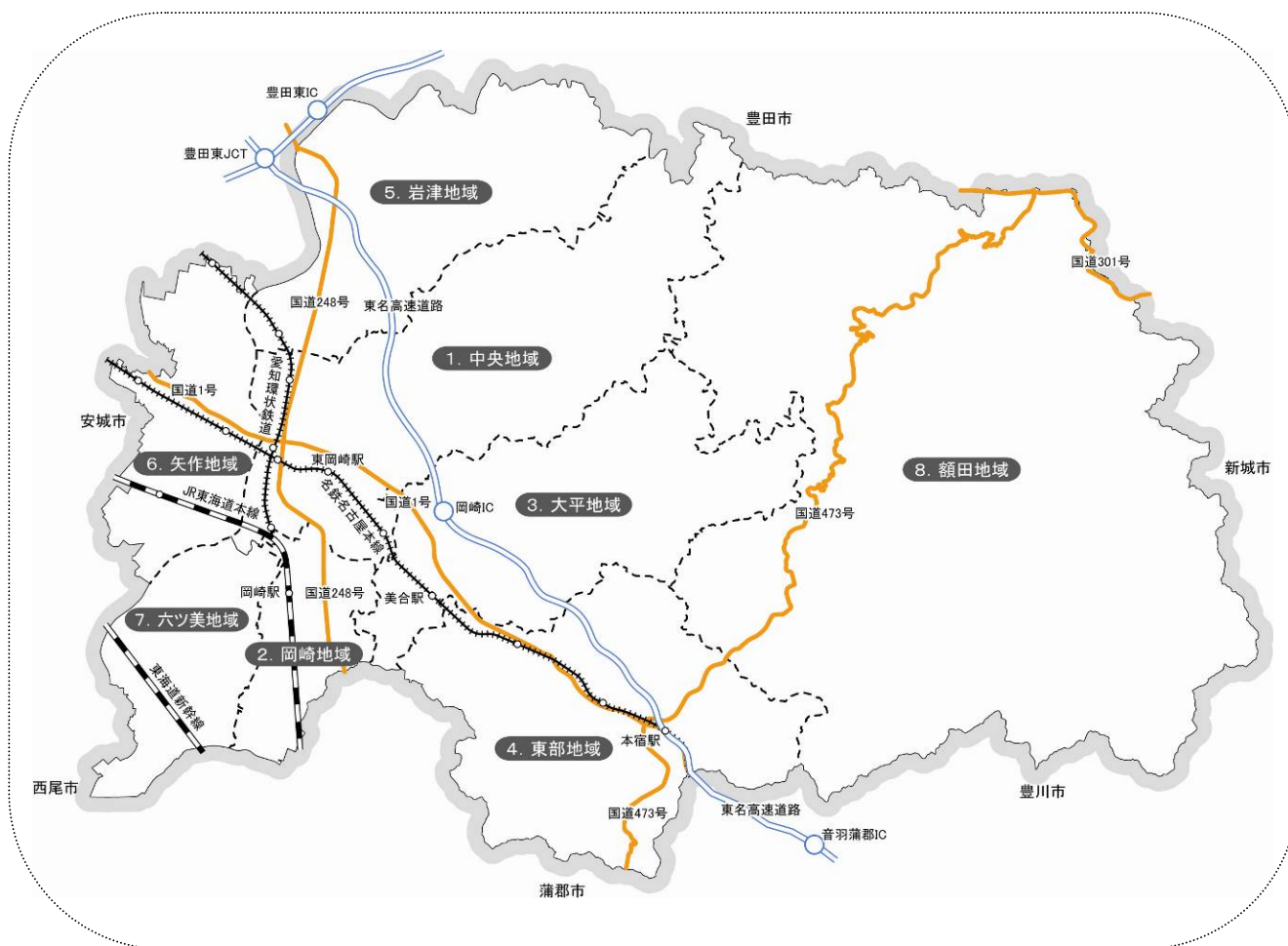
問13 岡崎市の行政施策について、ご意見・ご提案がございましたら下欄にご記入ください。

設問は以上です。最後までご回答いただき、ありがとうございました。
調査票は、同封の返信用封筒に入れてご返送ください。

なお、別添の参考資料に、これまでの取組をご紹介します。
問12のご回答の参考にしてください。

参考資料

下の地図は、問6 お住まいの地域のご回答の際に参考になしてください。



以下の表は、問12 市の取組に対する満足度・重要度を回答される際にご参照ください。

各分野におけるこれまでの取組

分野	これまでの取組
✿ 市民生活・地域社会  防災マップの作成	○市民自治 ・市民協働推進指針を策定し、市民が地域社会で公的な活動に取り組むことのできる環境づくりを進めています。 ○市民生活 ・男女共同参画推進条例を施行し、多様化する社会状況の中で、市民が人権を尊重し充実した生活を送ることのできる環境づくりを進めています。 ○安全社会 ・防犯ボランティア団体や消費者団体等の設立や活動の支援を行って、市民がお互いを守り合う、安全な社会環境の構築を進めています。 ○防災体制 ・防災マップを作成したり、中央防災拠点機能を整備したりするなど、災害などの危機に強いまちをめざして取り組んでいます。
◆ 保健・医療・福祉  岡崎げんき館の開館	○保健衛生 ・各種がん検診を実施し、市民が健やかに暮らすことができるよう取り組んでいます。 ○地域医療 ・高規格救急自動車を導入するなど、救急医療の充実を含め、安心して暮らすことのできる環境づくりを進めています。 ○地域福祉 ・町単位や小学校区での支え合い活動を支援し、地域でともに支えあい、安心して暮らすことのできる環境づくりを進めています。 ○障害者福祉 ・異なる福祉サービスを一元化し、障害者も地域の構成員として地域社会に積極的に参加できるよう取り組んでいます。 ○高齢者福祉 ・老人クラブ連合会や老人クラブを支援し、高齢者が生きがいを持って、安心して暮らせるよう取り組んでいます。 ○児童福祉 ・放課後の児童の居場所としてこどもの家を運営し、家族・地域に見守られ、子どもが健やかに成長することのできる環境づくりを進めています。 ○社会保障 ・市が所有する介護保険事業施設である高年者センター岡崎を運営するなど、介護保険のほか、国民保険、国民年金などの制度が安定して運用さ

	れるよう取り組んでいます。
♥ 環境共生都市  水とみどりの森の駅の整備	○自然環境 ・「水とみどりの森の駅」を整備するなど、水と緑豊かな自然とふれあえるまちづくりを進めています。 ○生活環境 ・生活環境保全条例を施行し、公害の無い、良好な生活環境づくりに取り組んでいます。 ○地球環境 ・地球温暖化防止隊と連携して温暖化防止行動を推進するなど、市民が身近な環境だけでなく、地球環境にも配慮する社会となるよう取り組んでいます。 ○環境行動 ・環境をテーマとしたイベントの開催や、「エコシール制度」の導入など、市民が環境を考え、環境行動を実践することのできる環境づくりを進めています。
★ 経済  東部工業団地の造成	○商工業 ・インキュベート・オフィス・康生を運営し、新しい産業の育成・支援を図るなど、産業が元気で、地域経済が活性化するよう取り組んでいます。 ○農林漁業 ・補助金・制度資金により支援し生産団体と連携して、農林漁業が持続的に発展し、農山村が活性化するよう取り組んでいます。 ○観光 ・藤川宿といった歴史的な観光資源、くらがり溪谷といった自然資源を生かした事業を実施し、地域内外の交流が盛んになり、地域が活性化するよう取り組んでいます。
♣ 都市基盤・生活基盤  コミュニティバスの運行	○都市魅力 ・東岡崎駅を中心とした市街地整備の基本方針を決定するなど、市内の都市基盤が計画的に整備され、都市の魅力が向上するよう取り組んでいます。 ○快適移動社会 ・バリアフリーに配慮して道路環境を整備し、市民が快適に移動できる社会づくりを進めています。 ○生活基盤 ・既存市営住宅の計画的改修や水道管の耐震化を実施するなど、ライフラインとなる身近な生活基盤の整備に取り組んでいます。
	○学校教育 ・専門家による就学相談、臨床心理士による不登校児童生徒の相談を実施するなど、児童生徒がいそいそと育ち、豊かな心が育まれるよう取り組んで

✦ 教育・文化  シビックセンターでの イベント開催	います。 ○生涯学習・スポーツ ・岡崎図書館交流プラザLibra(りぶら)内にジャズ・コレクション展示室や岡崎むかし館の開設を計画するなど、市民が生涯にわたり学習・スポーツに取り組むことのできる環境づくりを進めています。 ○文化 ・内田ジャズ・コレクションなど岡崎独自の文化を発掘し、岡崎独自の文化が守られ、育まれるよう取り組んでいます。
♠ 都市経営	○参加と協働による市政の運営 ・パブリックコメントの実施や審議会の公開など、市民に開かれた、信頼される行政の確立に取り組んでいます。 ○効率的な行政経営の推進 ・行政評価制度を導入して事務の改善を行うなど、成果を重視し、経営感覚を持った行政をめざして取り組んでいます。

これまでの取組の紹介は以上です。

岡崎市市民意識調査 報告書

平成20年9月発行

岡崎市企画政策部企画課

岡崎市十王町2丁目9番地

TEL 0564-23-6812